

中庸示蒙句解

全

5212
1819
144 止



門口七12
1819
止

四書示蒙句解卷二十七中庸上

中村陽齋先生著

中庸章句序

中庸ハ此書ノ名其義篇題ノ下ニ見エタリ章句ハ註ノ異名ナリ。章公語ノヲハル處句ハ詞ノキル、處ニツ章句ヲワケテ其間ニ訓釋ヲ入ル、ニヨリテ註ヲ章句ト云序ハ書ノハジメニレルノ下篇ノ大意ヲ示ス詞ナリ。余子中庸ノ書ニ註ノ中庸章句ト名ツテヨリテ其章句作レル義ヲ此序ニノヘラレシナリ。

中庸何爲而作也子思子憂道學之失其

傳而作也

コレ自問自答ノ詞ナリ。子思ハ孔子ノ孫伯魚ノ子名ハ優子思ハ其字ナリ。下ノ子ノ字ハ學者先儒ヲ師トシガメテ稱スル詞ナリ。道學トハ道ヲ求ル學術ナリ。此書ハモツハラ道ヲ明ニスル書ナルニヨリテ序ニモハレメヨリ道學道統ノトヲ主トシテ説ケリ。蓋シ子思何



ノタメニカ此書ヲ作レルトナレハ未子ノ時ハ異端ノ説アリトイヘルイニ
タ盛ナラス子思ノ時ニハヤウヤク盛ニナリテ正道ヲ妨ルコトアルニヨリ
テ後世イヨク盛ニノ道學ノ相傳ダ工夫セシ
コトヲ憂テ其タメニコレヲ作レルトナリ
蓋自上古聖神

繼天立極而道統之傳有自來矣
上古聖神トハ
木抵伏羲神農

黃帝堯舜ノ五帝ヲサス聖神トハ聖人ノ徳神效ニノ測ラレザルコトヲ云聖
人トハ又別ニ神人アルニアラス也天トハ天道ニツギ代リテノ立極トハ
極ハ法ナリ聖人ノ道徳天下ノ法則トナルヲ云是即道ヲ修ムルノ教ナリ
道統トハ統ハ系ナリ聖賢カハルセ世ニ出テ此道ヲ受テ傳ルコトナリ祖
宗子孫ノ系譜ノ如クナル故ニ道統ト云自來トハ由來ノ義ナリ此段上古ノ
聖人道統ノ祖トナリ玉フヨリ由來アリテ後世ニ此道ツタハルコトナリ
其見於經則允執厥中者堯之所以授舜
是ヨリ古ノ聖人道統ノ傳授堯ノ内ニ見エタルヲトク此堯ノ語ハ
也今論語ノ末ニアリ尤トハ傳授ノ義中義理ノ精微ニノ過不及ナキ處

即中庸ノ道ナリコレヲ執トハトリテ用ルゾ聖人天ニツギ極ヲタテ世ヲ
治メ教ヘタマフコト此道ニヨラスト云イナレコノ故ニ帝堯天下ヲ舜ニユ
リ玉フ時此語ヲ告テ
人心惟危道心惟微惟精惟

一允執厥中者舜之所以授禹也
此亦堯ノ天下

王フ時ニツケ玉フ詞今書ノ大禹
讓ニ見エタリ其義ハ下ニ詳ナリ
堯之一言至矣盡矣
允執厥中ト云ト白ヲサス至レリトハ此上ナキ
意盡セリトハカチスベサルトコロナキ一ヲ云
而舜復益之以
三言者危ノニ有ラサス
則所以明夫堯之一言
必如是而後可庶幾也
堯堯トハ子ガフ詞ナリ云意ハ人
欲ノ心ハアヤウク道理ノ心ハカ
スナニノ中道トリガタシ只精察ニ理發ラ明レ只專一ニ道理ヲ守リ必カク
ノ如クノ工夫ヲ用ヒテ後ニ何トゾ傳授ニ其中ヲ執ルコトナルベシトナリ

蓋嘗論之。嘗ニト公謙退ノ詞ナリ。夫舜ノ心之虚靈知

覺一而已矣。虚ト公ムナレクノヲサカラヌナリ。靈ハ靈妙ニシテ

スベテ心ノ模様ヲトク。体用ヲカチタリ。知ハ物ヲワキシル處覺ハ物ニフレ

テオホエアリ。氣ノツク處此二字ハモツハラ心ノ發用ヲトク一而已矣トハ

心之異者。心ノ虚靈知覺ハニツナルニ人心道心異ニシテ

其或生於形氣之私。コレハ心ヲトク。形氣トハ形體氣血也

或原於性命之正。コレ道心ヲトク。道トハ當然ノ

心ニ生ズト

イヘルナリ。

キテ出ル心ハ行ハレテ事ノ當然ニカナラフ故ニ道心ト云ナリ。性命トハ心ニ
具リタル仁義禮智ノ本性。生ル。初二天ヨリ命セラレタル者ナルヲ以テ。性
命ト云ナリ。此仁義禮智ノ性。發ノ惻隱羞惡辭讓是非ノ情トナルハ本來
ノ正キ理ヲ源トノスグサニ流レ出ルヲ以テソノ正キ二原ツクト云原ハ
即源ノ字
ノ義ナリ。而所以爲知覺者不同。道トハ不同アルト也
人心道心ハ三ナ心ノ發用ヲサス故ニ只
知覺ヲ以テトキテ。虚靈ニ及バサル也。是以或危殆而不安。
危殆ハ三ナアヤウキゾ。形氣ノ欲ヲホレイマニスレバイカホトノ放逸ニ至
ス。或ハカリガタキ故ニ。人心ハ危殆ニモ安カラヌゾ。安カラヌトハオチツ
カサル
義ナリ。或微妙而難見耳。微妙ハ三ナカスカタナルゾ。蓋シ道心
結制スル者ナレ。私欲ニニキレヤスクノ宰制スル所サダ
カナラス。見エツ隠レツカニシテ。見サタメカキナリ。然人莫
不有是形。故雖上智不能無人心。上智トハ聖
賢ヲサス。

亦莫不有是性故雖下愚不能無道心ホト

ノ人ノ字ヲウケテトク下愚トハ自暴自棄ノ小一者雜於方寸之間而不

知所以治之方寸トハ四方一寸ナリ人ノ血肉ノ心ノ内セバクチ

ニ方寸ノ間ニ指シレハリテアリコレヲ治メテ道心ヲタ則危者愈

危微者愈微而天理之公卒無以勝夫人

欲之私矣人心イヨク危クノ惡ニオチイラニトス道心イヨク微ニ

レテ總ルニナシトス天理ハ即性命ノ理人欲ハ即形氣

ノ欲蓋レ道心主トナリテ人心コレニ命ラウクレバ其スル所ニテ天理ニカ

ナフ人心事ヲ用ヒテ道心コレニ服従スレバ其スル所ニテ人欲ニナカルコ

コヲ以テ天理ハ本主宰ナレバツイニ人欲ニエカタズメニゲラレレタガフ

ナリ未理ノ心ハ我人ニ通ズルヲ以テ本ト云人欲ノ心ハ身ノタヌバカリナ

精則察夫二者之間而不雜也是ヨリ精上ノ工夫

キナリ推精ハ人心道心ノ二ツノ間ヲキハドクツニ一則守其

本心之正而不離也一ハモツハラナリ本心ノ正キトハ本

サス云意ハステ二人ト道トノ間ヲ辨察スル時ハ則ソノ道トスル所ヲ專一

ニ守リテレバラクモ相ハナレズトナリ精ハ致知ノコト一ハ力行ノ一ナリ

從事於斯無少間斷從事トハ其スル事ニカ、リテツトムル

必使道心常爲一身之主而人心每聽

命焉精上ノ工夫ヲツミテ後道心常ニ立テ一身ノ主宰トナリ人心何事

中庸の解

九

ガフーテ 則危者安。微者著。而動靜云爲。自無
過不及。差矣。コ、ニ至リテ。カノ危キ人心。ヤスシメオチツキ。微ナ
ル道心。アキラカニノカクレス。其身心ノ動。各時時
云コト。身ニ爲スワサ。ラノツカラ過ぎ及バサル。差ヒナク。レ井ツトメズ
レテ。ミナ中道ニカナフナリ。是ニテ。ニテ。人心。惟危キノ義ヲトキ終リ。夫
堯舜禹天下之大聖也。以天下相傳。天下
之大事也。以天下之大聖。行天下之大事。
而其授受之際。丁寧告戒。不過如此。則天
下之理。豈有以加於此哉。丁寧トハ人ニ事ヲ付屬ノ
クリカヘレ。子ニゴロニ云フ
ナリ。告戒トハ戒モ告ル義ナリ。蓋シ天下ノ大聖人。天下ノ大事ヲ授ケ受ケタ
ラフニ。差ステニ舜ニツケテ。至フコト。舜モ亦再子ニゴロニ。禹ニツケタ。ミテ所

三ノ厥中ヲトル。一ニスキズ。然レバ中ハコレ至極ニノ精微ノ理ナリ。天下ノ
理ハ何事カ。此上ニラキテ。ミサレリトスル者アラシ。ソレ中ノ一字ハ聖々相
傳ノ道。コレニスキズ。精上ノ一字
公聖々相傳ノ學。コレニスキズ。
自是以來。聖聖相承。若
成湯文武之爲君。皋陶伊傅周召之爲臣。
既皆以此而接夫道統之傳。商主成湯。周ノ文王武王
ハミナ聖人ノ君ナリ。眞
ノ卑陶。商ノ伊尹。傳説周ノ周公召公。ハミナ聖賢ノ臣ナリ。既ノ字ハ下文ニ
孔子ノ道統ヲイハシタメニ。ツラキタル詞ナリ。此ノ字ハ中ヲ執ルコトヲ
サス。此アマタノ聖賢。中ヲ執レルコト。
其語經傳ノ内。コ、カレコニ見エタリ。
若吾夫子。則雖不得
其位。而所以繼往聖。開來學。其功及有賢
堯舜者。ヨリモ
吾トハコレヲ親ムノ詞。往聖トハソレヨリ前ノ聖人來學トハ
ソレヨリ後ノ學者ナリ。夫子ハ氣運ノオト口ヘタル時ニ出玉

中庸句解上

フニヨリテ。王侯ノ位ニ居テ。世ヲ治メ。民ヲ救フヲ得玉ハス。然レモ已往ノ
聖人ノ道統ヲツキテ。フノ大成ヲアツメ。將來ノ學者ノ道ヲ求ルガヲ開示ス。
万世ノ師表トナリ玉フコノ故ニ堯舜ノ一時ヲ治メ王フヨリモ其切反テ。ニサリタル所アル也。然當是時見而

知之者。惟顏氏曾氏之傳得其宗。見而知之。トハ

ウレ直ニアヒテ。其道ヲ得ル者ヲ云宗ハ正ナリ。源流ノスチメ正キコトヲ云
蓋シ孔門ノ諸子。見テ知ル者。アタアル中ニ。顏子ハ博文約禮ノ教ヘニヨリテ
立ツ所ノ卓爾タルヲ見ルニ至リ。曾子ハ格致誠正ノ功ヲツミテ。一貫ノ旨ヲ
悟ルニ至ルコレニ子ノ三聖道ノ宗的ヲ得テ。他人ノ得テアツカラザル所

及曾氏之再傳而復得夫子之孫子思

則去聖遠而異端起矣。曾子傳ル所ノ道子思ヲ得テ再
コレヲ傳ヘツル時ハ聖人ノ世ヲ

去ル。ステニ遠クノ揚子墨子ガ如キ。異端ノ說ヤウヤクニ起レリ。子思

異端トハ聖人ノ道ヨリ外ニ異ナル端ヲ立テ。人ヲ教ルコトヲ云

懼夫愈久而愈失其真也。子思今ヨリ後。異端ナラ盛シ
ニナリテ。此道ヲキキラハレ

於是推本堯舜以來相

傳之意。皆以平日所聞父師之言。更互演

繹作爲此書。以詔後之學者。實ストハ證據トスル義
ナリ。父師トハ夫子曾子

ヲ通サス。更互トハカハルク。タガヒニスルゾ。演ハノベヒロムル義。繹ハレキ

ツラヌル意ナリ。子思堯舜以來ノ聖賢道統相傳ノ執中ノ意ヲ推レキハメ。

タツ子本ツキテ。其證據ニハツ子ニキク所ノ夫子曾子ノ語ヲヒケリサレ。凡

篇内ニ曾子曰クト云語ノナキハ蓋シ曾子ノ言モ子思ノ自イフ所モ。三ナ未
子ノ意ヲ發明スルノ外ナキニヨリテ。曾子ノ語ハ子思ノ自言ノ内ニ混ジ入
レラレタルト見エタリ。凡ソ此書ノ体。聖言自言カハルクトリツバケテ。一篇
ノ文字トナレ。或ハ一ツ自言ヲタテ。聖言ヲ引テコレヲ證シ。或ハ一ツ聖言
ヲ舉テ。自言ヲ以テコレヲ明ス。コレ更互ナリ。ソノ更互スル所ハ。三ナ執中ノ

旨ヲノベレク。コレ演繹ナリ。カクノ如クニ。此書ヲ作りタテ。蓋其憂

之也深故其言之也切其慮之遠故其說

之也詳。此書ニルル所後世ノタメニ道ノ明ヲサセラヌ憂ル一深レコ

其曰天命率性則道心之

謂也。此書ノ首ニ天命之謂性率性之謂道トアルハ即道心ヲイハ

擇善固執則精一之謂也。又擇善而固執之ト云擇善ハ

其曰君子時中則執中之謂也。又君子而時

世之相後千有餘年而

其言之不異如合符節。符節ハ三ナワリフナリ。孔子思

選前聖之書所以提挈綱維開示蘊奧未

有若是之明且盡者也。歷ハフル。選ハエラフナリ。提挈ハ

自是而又再傳以

得子思氏爲能推明是書以承先聖之統

後又再傳レテ孟子ノ出トヲ得タリ。孟子スナハ千子思ノ門人ニ學ラウケ

ヨク中庸ノ書ヲ推シ明メテ先聖ノ道統ヲウケツクヲナセリ。今孟子七篇

中庸ノ書ヲ推シ明メテ先聖ノ道統ヲウケツクヲナセリ。今孟子七篇

ノ中ニ中庸ノ書同意ノ所多キヲ以テレルベシ。及其没而遂失其傳焉。則吾

道之所寄不越乎言語文字之間。孟子及レテ後世二道ヲ知ル

人ナクテ道統ノ傳ツイニタエ夫セタリ。然レハ吾カ聖道ノタノニ寄ル所タ

而異端之說日新月盛以至於老佛之徒

出則彌近理而大亂真矣。日新月盛トハ漸々ニ新クタテカハ盛ニノ多クナルトゾ

接スルニ漢ノ黄老ノ術晋ノ清談ノ俗ハ三ノ老氏ヨリイテホ情ニ近ク

ヤ盛ニ行ハル佛法ハ後漢ノ時ハレメテ西域ヨリ入りケルニソノカニイ

近クメ盛ニ行ハルヨリテ吾道ノ真ヲ乱ルル亦甚大イナリ而ノ老氏ハ却テ

オトロヘタリコニ老佛ヲツラ子云一。文勢カクノ如クナラザルヲ得ザレ

ハナリ蓋シ異端起リテ正道ヲ妨ケ道統タエテ異端ニスル盛ナリ。三子子

思ノアラカシメ憂懼セラレタルガゴトクナリ。然而尚幸此書之不泯故程

夫子兄弟者出得有所考以續夫千載不

傳之緒得有所據以斥夫二家似是之非

程夫子兄弟ハ程明道程伊川ニ先生ナリ。載モ年ナリ。緒ハイトクチナリ。云意

公道統タエ異端盛ナル。上ニ云如クナリトイヘ。ナラ幸ニ此中庸ノホロビ

スメノコレルアリ。コノ故ニ宋朝ニ至リテ。程子出ラレタル時ニ此書ヲ以テ

考ルテアリテカノ孟子ノ後千載タエテ傳ハラザル道統ノ緒ヲツグテ得

又此書ヲ以テ據リトコロトスルテアリテカノ老佛二家ノ是ニ似テ非ナル説ヲサレシメソクコトヲ得タリ。

功於是爲大。子思道統ノ傳タエテシラ憂ヘラレシ。今再コレヲラレシ。今ソノ是ニ似タル非ヲレリソククル。是ニナ中庸ノ書アルニヨリテナレバ子思ノ此書ヲ作ラレタル功ヲコニライテ大イナリトスルゾ

而微程夫子則亦莫能因其語而得其心

也中庸ノ書アリトイフ程子出ルナク公亦ヨク其語ニヨリテ其語ノ心ヲ得ル者ナカルベシ蓋シ程子ヨリ先ニモ此書ヲヨシモテアソフ者多アリレカト皆イニダ其心ヲ得ズ程子ハ則其心ヲ得ラレタル故ニヨクコレニヨリテ道統ヲツギ異端ヲヒラクコトヲナセリ惜乎

其所以為說者不傳二程ノ中庸ノ說明道ハイニダ書ツクツクハラズ或說ニ伊川ハ其書ステニ成リツレ程心ニニダサルヲ以テヤキステラレタリトイヘリ而凡石氏之

所輯錄僅出於其門人之所記石氏ハ會稽ノ石塾ナリ輯録トハアツ

是以大義雖明而微言未折程子ノ自記レラコトヲテ

至其門人所レタル程說ニテ此書ノ本段ノ義ハ明ナリトイヘ

自為說則雖頗詳盡而多所發明然倍其ミツクハ一ニ

師說而淫老佛者亦有之矣門人所自為說トハ程子ノ說ナリ願ハ俗ニヨホト云詞詳盡ハツ

熹自發歲即嘗コラカニツクセルゾ發明ハヒラキアカスナリ

受讀而竊疑之發歲トハソカキトレナリ受讀トハ解ニ受テ

沈潛及復蓋亦有年ルノ書ナレバ敢テヒソカニ疑ラ

且恍然似有以得其要領者テテゴレヌ明サントスルナリ

リナリ。衣ヲアタル者、領ト腰トヲトレバ、アケヤスキヲ以テ、後ノ簡要ノ書ヲ
知ルヲバ、要領ヲ得ルト云ナリ。云意ハ工夫年ツモレル後ニ一旦恍然トシ
ソノ要領ヲ得ルヲアルヤウナルトナリ。蓋シ此道ニヲイテトリトメタル
然ハナケレバ、カクゾト見スヘタル所アルニヨリテ、レカイヘリ。サレバコレ
モ亦謙退ノ詞ナリ。然後乃敢會衆説而折其衷、既爲定
著章句一篇、以俟後之君子。
先儒ノ著述ヲコレセアツメテ、其或ハスキ、或ハ及ハス、或ハ左右ハソレタレ、間ニ
テムソノ一處ヲコソ、ゾトサレサダメテ、既ニ此書ノタメニ、章句一篇ヲ定メ
テ、而ノ其イニ、是ナラザル處ハ今ヨリ後ノ
君子ノ修メ正スコトヲミツト、コレモ亦謙詢ナリ。
而一同志
復取石氏書、刪其繁亂名、以輯略。
實ハ其門人ヲサレテ云石氏ガ書ハ集解ナリ、繁亂ハ其説ノオホクメ入り
ニタレタルヲ云コレハケツリステ、簡略ニスルナリヨリテ輯略ト名ツク。

アソメテ略
且記所嘗論辨取舍之意、別爲
問以附其後。
又輯略ノ諸説ノ是非ヲ論レ辨キテ、此ヲ取リ彼ヲ舍
タル意趣ヲ示レル。或問トス、其書ノ体、或人ノ問ヲ一
ト云コレヲ以テ、輯略ノアトニツケラクゾ。
然後此書之旨、支
分節解、脈絡貫通、詳略相因、巨細畢舉。
向ノ書タル趣ヲトク、此書トハ中庸ノ本文ヲサス、支分トハエタワカルナリ。
節解トハフシトクナリ、脈絡トハ血ノカヨフミチヲ脈ト云即十二經ナリ。
經脈ノ間ニヒテアルヲ絡ト云、即十五絡ナリ。是三十人ノ身ニタテハ、
凡ソ中庸ノ一篇、四太支ニワカル人ノ手足四體ヲ、四肢ト云カ、如レ首、
ハ中和、次九章、費隱、又次十二、章八、天道、人道、其卒一章ハ、
三章ニメ、三十三節ニ解ケタリ、四肢ニヲノク、骨節、
ノ終始ニ貫ケルハ、脈絡ノ四肢ヲ共ニ貫ケルカ、如レヨリテ、又脈絡貫通ト云
ナリ、詳略相因トハ、四太支ヲノク、初ノ章ニ太略ヲアケ、次々ノ章コレヲ詳

ニスコレ詳ハ畧ニヨリ畧ハ詳ニヨル又段々ノ相ウクル間ニモ或ハ詳ニヨ
リテ略ヲヒツサダ略ニヨリテ詳ヲ致セルアリ巨細異擧ト公巨ハ大細公小
計リソノ道ヲ論スルヲ外ハ大ナルヲキハメ内ハ小キナルヲツクス又
漸々ニ大ヲキハメ小ヲツクセル處アリコレ巨細コレクアゲテノコサ
ナリ凡ソカクノ如クナルトニナ
章句ニヨリテコレヲレルナリ

而凡諸説之同異得失
亦得以曲暢旁通而各極其趣

ト公諸説ノカレコレ同レキト異ナルト義理ヲ得タルト失ナルトヲ云曲
暢ハツブサニノフルナリ旁通ハアミチクトラルナリソノ同異得失ノ意趣
ツブサニノヒテ至ラザル所ナレコレ聖ニトクアミチク通ノ及バザル所ナ
レコレ横ニトク凡ソカクノ如クナルト或問ニヨリテ各ソノ趣ヲキハメツ
クス
雖於道統之傳不敢妄議然初學之士
或有取焉則亦庶乎行遠升高之一助云

爾シカ議ト公擬議ナリナスラハハカリニル意アリ行遠升高トハ此書ニ行遠必
自過登高必自卑ト云ラトリテイヘリ云意ハ中庸ハ聖賢道ヲ傳ルノ書

ナリ然ルラ今章句或問ツクルト致テ莫ニニツカラ道統ノ傳ヲ任セント
擬議スルニアラス只初學ノ士トリテ見ルヲバ遠キニユキ高キニノホ
ルカタノ助ケニナルベキカトゾ云爾ト公カクイヒタル者ソト云詞ナリ
然レバニツカラ立ツ所卑ク近クハイカントノカ人ヲ遠キニ致シ高キニ引
クテラ得テコレ其詞ハ謙レリトイヘ凡ニツカラ任ズルノオモキ
ハツガレガタキ所アリ此假モ太學ノ序ノ終ト其意太繁相似タリ
淳熙
巳酉春二月戊申新安朱熹序
注解三ノ大學ノ
序ニ見エタリ

餘白

中庸

別頁

此処
ニ号
全句
カキ

此処
ニ号
カキ
之ニ
サゲテ
組

中ト公物ノミシナカニアリテ前後左右ニカタヨラススガサニ立テ
カタフキユガマザル義ナリコレ人心イマダ物ニ應セスノ静ナル時ノ
操樹ナリコレラ未發ノ中ト云中道ノ体ナリ此心動キテ物ニ應ズル
時ヲノク其當然ノ理ニアタリテ過モセス及バズモアラザル公也發ノ
中ニ中道ノ用ナ中庸ノ中モト過不及ナキ義ナレバ必其体アルニ
ヨリテ其用ヲコナハル故ニマツ体ノ中ヲコロエテ後ニ用ノ中ヲアキ
ラムベレ庸ハツ子ナリ尺常ニテ平ナル道ニモコトヤウニヤレキ所
平常ニモ少モ差異ナレトナキ故ニ又
ゴノ中庸ノ道其身ニソナ

子程子曰不偏之謂中

不偏トハカタヨラザル義ニ
レテ又カタフカザル意ヲモ

兼子体用ヲ
混ノイヘリ

不易之謂庸

不易トハカヘラレザルノ義
公尺コレツ子ナレ尺其道

中庸
子程子曰不偏之謂中
不偏トハカタヨラザル義ニレテ又カタフカザル意ヲモ
不易之謂庸
不易トハカヘラレザルノ義公尺コレツ子ナレ尺其道

ナレバ。必萬世ノ歴テモアラタメカヘラレサル故ニ亦不
易ノ意ニモ取ルナリサレドコレハ一轉シタル義ナリ
中者天

下之正道庸者天下之定理
天下トハイツクニ
アリ。在カナル事ニ

以テテモト云義ナリ。道ト理トハ只コレ文ヲ互ニメイヘリ。必シモ其ワキ
ナレ。蓋レ中ト云時ハ不偏ニメ。天下ノ正キ道理ナリ。庸ト云時ハ不易ニ
レテ。天下ノ定レル道理ナリ。コレフタ、ヒ正

道定理ヲ以テ。不偏不易ノ義ヲ明セリ。
此篇乃孔門

傳授心法
傳授トハツタヘサツタルゾ。此中庸ノ一篇ニノスル
コレヲ子思ニサツケラレタル心法ナリ。ソレ中庸ノ道事々物々ニ應ズ
ル所ヲノクコトナリ。一ハ其簡要タ、一心ニスベタルフ以テ。心法ト
云。法モ亦

道ナリ。
子思恐其久而差也故筆之於書
筆ストハカキレルス義ナリ。子思コノ道ノ異端ニサ
テサツ

以授子孟子
ニタゲラレ。年代久キ後ニタカヒアラニラテテ恐レテ。

コノ故ニコレヲ書ニカキノセツタヘラレ。コレ今ノ中庸ノ書ナリ。而
ノコレヲ子孟子ニ授ケラレタルニヨリテ。孟子モヨク孔子ノ心法ヲツケリ。

其書始言一理
一理トハ只一ツノ道理ナリ。コレ天命ノ性
ヲカス。性ハ天下ノ方理混一ノ本体ナリ。

中散爲萬事
萬事トハ智仁勇ノ三達徳君臣父子夫婦兄弟朋
友ノ五達道。并ニ天下ヲ治ル九經等ノ目ヲカス。

コレ三十一理ノ万事ニ
未復合爲一理
此一理ハ上ニハ載ハ
散在スルトコロナリ。聲モナク臭モナシ

ト云。コレナリ。蓋シ天道ノ精微ニシテ。擊モ臭モナキハ。コレ中庸
ノ至極ニシテ。万事ニ散シタル道理。又三十一相合テ。此一理ニ歸ス。**放之**

則彌六合
天地四方ヲ六合ト
云。六合ノ對ナリ。下

則彌六合。卷之則退藏於密。
東西南北三ノ相對スル故ニ六合ト云。密トハキヒレクテ。又キ一ナキ義
ナリ。ソレ道ノ休閑。至天ニテ外ナク。至小ニテ内ナレ。コノ故ニソレノ功用。

コレヲラレ放ツ時ハ六合ノ廣大ナル間ニ三チフ升カリ。コ
シテニキ收ル時ハ一心ノ深密ナル内ニガクシコモルナリ。
其味

無窮皆實學也

公ニナ身ヲ修ム世ヲ治ムル實用ヲナス學術ニノツモムコトニアラズ蓋シ虚無寂滅ノ教ヘ公理味アルヤウナレバ實用ニタハ確證無ク數ノレワガ公實用アルニ似タレドモ理味アルコトナレシ三十聖人中庸ノ道ニアラガレバナリ

而有得焉則終身用之有不能盡其

此一篇ノ書文字多カラストイヘバヨクヨミトル者其詞ヲ玩ヒ味ヒ其理ヲ究メ索メテ心ニサトリ得ルニアラバ身ヲ終ルニテ其道ヲ受用スルトモ得ツクスマジキ所アラントゾ

天命之謂性

天ト稱スルニテマタノ義ナリ或ハ形體ヲ以テイシ或ハ主宰ヲ以テイシ或ハ道理ヲ以テ云此天ノ字ハ造化ノ主宰ヲ以テ云命ハ令ト云カ如シ上ヨリ下ヘ事ライヒ付ル義ナリ性トハ人物ノ天ニウケテ生ズル所ノ理ナリ心ニ付キク凡物ナレニヨリテ其

字生ノ心ニ从ヘテ作レリゾレ天ノ命ヲ生ズル一陰陽五行ノ氣ヲ以テ形體ヲナシ其理ヲモホコレニシタガヒテレキアタフソノ命令ノ如クナル故ニ天命ト云人物ヲノク其賦スル所ノ陰陽五行ノ理ニヨリテ健順五常ノ徳ヲソナフコレヲバ性ト云ナリ夫ノ賦スルト人ニソナハレルトニヨリテ性命ノ名異ナリトイヘドモ其率性之謂道率性ト云性ノ條理ニシタガ實ハ只理ノ一ツナリ

率性之謂道

カスル義ニテ人コレニヨリレタガフト云ニアラズ蓋シ性ノ理モト混然トシテ一ツナレ事ニ應ジ物ニ接ル時ハ千條カ派ニワカレラコナハルコレ亦性中自然ノ條理ナリ道ハ道路ノ義ト同レルソ何事ヲモ各ソノ當然ノナスベキスナリテコレヲコナフハ則オモムク方ニユクベキ道ナリテコレヲユクガ如レラコナフハ即ユク義ナリ中華ニハ行ノ字ニユクトコナフトニツノ訓ナレゾレ人ノナス所只ソノ性ノ條理ノマニシタカヘハ則日用事物ノ間各ソノ當然ノ道アラスト云ナリ

修道之謂教

物ノ間各ソノ當然ノ道アラスト云ナリ

ニヨリテ聖人九ノス入ノ行フヘキ。當然ノ道ヲオサメワケテトカタツツテ
テダシモトリヲコナハル、ヤウニシテ至フ。禽獸草木ノ類ハ其性ハナハダフサ
カリテ、自教ニヨルヲアタハサル故ニ聖人コレヲ制シ。コレヲ用ヒテ、各以ノ
道ニシタカハシムコレモ亦教ナリ。凡ソ國家ノ政モ、ニテ教ノタメニワケ
ラル、ナリ。此ニ段、性道教ノ三字ノ各義ヲ釋スルニ似タシ。凡ソ全書ノ大ニテ、
只道ヲ明サンカタメナリ。ヨリテ上ニ句ハ、此道ノ本原天理ノ自然ニイ
テ、人性ニツナハルコトヲ示ス入コレヲ知ル時ハ、此道己ガモトヨリアル所
ニ。外ニモトムルヲマズ。只ワガ本性ニシタガヒテ、ワガ身ヲオサムル
ナリトサトル。又下ニ句ヲヨム時ハ、聖人ノ政教ニテ人物ノ本性ニシタガヒ
各其道ヲ行ハシムルノ少モレ井タルノニアラザルヲ示レル。然レハ三句
ノ主意、又道ノ一字ヲ
發明スルニスギズ。

非道也

ツ子ニ行ハテカナハサル理ニ。モト天性ニ得テ、心ニツナ
ハリ物ニ事トメアラスト云フナキ故ニ、時トシテノカル、一ヲ得。アム
ヲ得ベキ者ヲ子ハ、必ツ子ニコレト共ニ相ツスベシ。レバラクノ間モ、相ナシ
レバ、

道也者不可須臾離也可離

上ニ道ヲ發明スル意ヲウケテ云ク、ソレ道ハ、日用事物ノ間
ハ、

テ。愛シゼラル、者ニアラザルナリ。モレレバラクモハナレバ、公性ニシタ
ガフコト、セラレズ。ダニコレ外物ノニ。豈ソレ道ト云者ナラシヤ。是

故君子戒慎乎其所不睹恐懼乎其所不聞

戒慎ハ、イニシメツ、レムナリ。恐懼ハ、ニナラソル、ナリ。上ニ云フウケテ云
ク、コノ故ニ君子ハ、日用動靜ノ間、ツ子ニ、レニシラソル、一ヲワスレシ
此心ヲ守リ養ヒテ、天理ノ本然ヲ失ハス。ソノ目ニ見耳ニ聞ク、一アハ時ハ、云ニ
及ハス。身聞ク所ノナキ時ニ、テモ、敢テアチトリカ、ロレメス。レバラクノ間モ
ワガ身ヲ。道ト相ハナレ、

コト。ナカラレムナリ。

莫見乎隱莫顯乎微

見ガル居處ヲ以テ、人ノ知ラザル心慮ヲカ子テ云、微キナルトハ、事爲ノスコ
レキナルヲ以テ、念慮ノキ、ガレラカ子テ云、ソレ隱ハ、イニダアラハレズ。微ハ、イ
ニダアキラカナラズ。トイヘ。ステ、ニ其端イテ來レル故ニ、我コレヲケレク
ラ、ニス。一ヲ得ズ。即天地ニ通シ、神人ニ感ス。ヨリテ、人ノ見ル所、知ル所ト

少モ異ナルヲア、ラス。コレヨリ外ニ、

故君子慎其獨也

人イニ

夕知ラズレテ我ロトリ知ル處ナリ。上ニ向ラウケテ云君子ツテモ我眞
恐懼ヲソノ天理ヲ存養ストイヘ。事端念慮ノワツカニキザヒテ。只我ヒト
知ル處ニ最ツシミヲ加ヘテコレラツマビラカニ省察シ。少モ私欲アル時ハ
必スミヤカニカキツクスナリ。モレ此處ニツイテ人イマダ知ラズトモ。少レモ
アナドル意アル時ハシラスオホヘズ私欲
増長ノ必道ヲハナル。一遠キニ至ルベシ。 **喜怒哀樂之未發**

謂之中 一各ナリ。情トハ性ノ發動スル者ヲ云。其イマダ發セスノ靜ナル
ハ即性ナリ。中トハ即不倚不偏ノ義只コレ性ノ一

ナレ。其德ニカメトリテ中ト各ツクルナリ。 **發而皆中節謂**

之和 節トハ物ノヨキホトヲ云。和ハヤハラクナリ。喜怒哀樂發見スル時
テ。少モソムキモトル所ナク。一サレク五味ノ調和スルガ如レヨリ

テ。和ト云ナリ。コレ情ノ正キ者ニ。亦ソノ德ヲ以テコレニ名ツク。 **中也**

者天下之大本也 天命ノ性ハ天下ノ理ニナコレニ由リテ出
故ニ天下ノ大本ト稱スコレ道ノ体トモ

又性ノ德ニツイテツ **和也者天下之達道也** 達ハトヲル
ノ事實ヲサレ出セリ。義ナリ。達道

ハ即性ニシタガフノ道。天下古今ノ事ニナ此和ニヨリテ通行スル故ニ天下

ノ達道ト云コレ道ノ用ナリ。コレ亦情ノ德ニツイテ。其事實ヲサレ出ス。以上

四段ハ人ニツナハリ。事ニ行ハル。性情ノ德ヲ稱ノ。天下古今ノ道理コレニヨ

ラガレバ。出ル所ナク。行ハル。事ナキヲ示レテイヨク道ハナルベカラザ

ルノ意ヲ明 **致中和天地位焉萬物育焉** 致ストト公ヲ
セリナリ。シキハムル

義ナリ。戒懼ノ工夫ツマヤカニ。動ヨリ靜ノ内ニ至リテ。少モユカニカタヨ

ル所ナク。又コレヲ守ル。レバシモ忘ル。一ナキ時ハ。則ソノ性ヲキハメツ

クスコレ中ヲ致スナリ。慎獨ノ工夫。クハレクノ事ニ應レ。物ニ接ル處少モタ

カヒアヤミラス。又ユクサキモ。皆然ラズト云。一ナキ時ハ。情ノ德ヲキ

ハメツクス。コレ和ヲ致スナリ。位ストハ。其位ニ安シ。オチツキタル義ナリ。

日月星辰ノスグリ。其度ヲ失ハズ。風雨寒暑。其時ヲ以テ至リ。出クツレズ。用ツ

キガルノ類ヲ云。育ハルトハ。ソノ生育ヲトゲテ。ソコナハレサル義ナリ。民安

ク。物サカシ。鳥獸魚鱉。三十若ノ類ヲ云。蓋シ天地萬物ハ。モトワガ身ト下

体ニテ。天地ノ心ハ化育ノ主ナリ。天地ノ氣ハ化育ノ具ナリ。人身ノ心氣ツ子
ニ天地ノ心氣ト相通ス。ヨリテワカ身ノ管領スル所ノ事ツ子ニ心ニ思ヒハ
カリテ氣ニウゴキアラハル。故ニ天地コレト相感スル所ノ邪正災祥ヲ
ラノ類ヲ以テ相應ス。コレ必然ノ理ナリ。コノ故ニ天下ヲツカサドル人其心
中正ナル時ハ則天地ノ心モ亦正ク。其本位ニ安ニス其氣和順ナル時ハ則
天地ノ氣モ亦和キテ万物其生育ヲ遂グ中和ヲ致スノ效ガクノ如ク大イ
ナルニ至ル。コレ學問ノ極切聖人ノ能事ナリ。コレニ次テハ國家ノ内上下ノ衆
起リ。政事ヲ端ヨクトノヒテ身ノ上ニハ天君泰然トシ百体令ニシタカ
フモ亦ミナ位育ノ事ナリ。各ソノ分際ニシタカヒテ其効ヲ得ズト云コト
ナレバレメ教ニヨリテ道ニ入ル者モ戒懼慎獨シテヨク中和ヲ致ストキハ
則教ワレニヨリテ立ツドニハ中ト和ト兩段ニワケテトクトイヘトモ体用動
靜モト合シノ事ニテ中ヲ致サレバヨリテ和ヲ致スコトナレ和ヲ致スニアラ
ズ亦何ヲ以テカ中ヲ致サレコノ故ニ中ニハ
中和ヲ合セイヒテ上文ノ意ヲヒキムスナリ

右第十章子思述所傳之意以立言

凡所公節堯舜禹ヨリ孔子ニツタハリ。曾子ウケテテ子思ニサツケラレレ所
ノ心法ナリ。ソノ傳授スル意ヲノベヒロメンタメニ自言ヲイヒタテ、コ
レヲ記セ
首明道之本原出於天而不可易
ルナリ。
本ハ木ノ本。原ハ水ノ源ナリ。此道天命性ヨリ
イテ。方世ノ通法トナリテアラタメカヘラレス。
其實體備於
已不可離
ニレタカヒ發見ノ甚虚活ナル者ナリトイヘ。凡ソガ
性コレガ實體トナル故ニ應用キハマリナケレ。凡ソノ條理ニタレサル
ナリ。則此性已ガ心ニソナハリテ。凡ソ身ヲオサメ。事ニ應スル。コレニ由ラ
ガル。アタハサル故ニレバ
次言存養省察之要
ラクモ相ハナレカタクキ也。
養ノ簡要。慎獨ハ省察ノ簡要。存養トハ存ハト。メラク義ナリ。心ヲトメ
養ヒイレテ。義理ト混一ナラレムルナリ。其工夫動靜ヲツラヌキテ。レバ
ラクモ間斷セス。省察ハ心ヲツケテ。ミソナハス義ナリ。事ヲ念慮ノ微ヲ
カンカヘニソナハメ。必私欲ヲノゾキスツ。其工夫動ノハレニアリテ。少モ

粗略ニセ粗略ニセ終言聖神功化之極神トハ聖徳ノ微妙ニメ

ナルナリハカリカタキクニ云聖人ノ上ニ又神人アルニアラス蓋レ天地位レ万物育ハ

ルハ聖人功業ヲ示レテ風化ノサカニナル至極ナリ蓋欲學者

於此反求諸身而自得之此ヨリ下二段ハ子思此

クアラフニホレキカタメナルヲトク云意公學者道ノ体用ニソナハ

ルコトヲ知ラバ則此道ニライテ外ニムカヒテ求メヌコレヲワカ身

ニカヘリ求メテワレト自會得スルコトアリテトゾ以去夫外誘之私而克

其本然之善外誘ノ私トハ外誘ハホカヨリミチヒクナリ耳

來自然ノ徳コレ天命ノ性ヲサス外誘ノ私ヲノゾクハ省察ノクハレキ

ニアリ本然ノ善ヲ克ルハ存養ノキヒレキニアリ人ヨク私欲ノ外誘ヲ

ノゾキテ性善ノ分量ヲミツル時ハ則教化ワレヨリ揚氏所謂

行ハレテ位育ノ功業モヤウヤクニコヒ子カフベシ

一テイ篇之體要是也レナリ体要トハ体ハ實ナル義ナリ詞ノ實實ニ

其下十章蓋子思引夫レテカガラス簡要ニノツビヤカナルラ

子之言以終此章之義下第十章ニテニモ此章

尼曰君子中庸君子ノ徳ゾノ心術制行ニナ中庸ナリ蓋レ

小人及中庸中庸ハ倚偏ナラス過不及ナクシテ平常

之中庸也君子而時中君子ノ中庸ナルコトハ其人スレニ

又ヨク時々ニレタガヒ各其事ノ中正ラ處置ノ少モ過不及ナキヲ以テ也

此又コトカ
オ一季
以下倣之

中庸ニハ定ノ体ナレ時ニレタガヒテ其事ノ上ニアリコトヲ以テ也

一十八

ラウケテ云。世二道ノ行ハレ
ハル。我其故ヲレリトゾ。**知者過之**スギ。智者トハ智慧ノサトスギ
タル者ヲ云。智者ハ道ヲ求

ルコト。フカクアナグリ。日用平常ノ道ヲ行ニタラストメ。コレヲアナドリ。
只知ルノニヲツトメテ。虚遠ニハセ。隱怪ヲ求ルニ至ル。コレ知ルノ過タル

ナリ。**愚者不及也**ナリ。愚者ハモト道アルヲ知ラス。ヨリテ亦コ
レヲ行ハニヲ求メス。コレ知ルノ及バサル也。智者ノ

スキ。愚者ノ及バサル。コレ中道行ハレサルノユヘナリ。
道之不明ルカカ

也我知之矣句義第一。賢者過之スギ。賢者トハ力行ノイサミ
道ヲ行フ。スルトニハゲシク。學問窮理ノヲスルニタラストメ。コレヲカロシ

メ。只行フノニヲツトメテ。心一カセニイサミユキ。レガタキヲコノミテ
スルニ至ル。コレ行フ

コトノ過タルナリ。**不肖者不及也**セウ。不肖トハ似ガルナリ。其ヲト
ナキ者ヲ云。凡ソ人。賢ニアラサレバ。則不肖ナリ。不肖一ツニアラス。大ヤウ自

棄ノカキレル者。公道ヲ行ヒガタキトス。自暴ニホシイニ。ナル者。初

ヨリ道ヲ信セス。ヨリテ皆道ヲ講明メ。コレヲ知ルヲ求メス。コレ行フノ及

バサルナリ。賢者ノスキ。不肖者ノ及バサル。コレ中道明ナラサルノユヘナリ。此

六段。智慧ノ過不及ニヨリテ。中道ノ明ナラス。賢不肖ノ過不及ニヨリテ。中

道ノ行ハレサルハ。タレモ知リセスキトナル。故ニコレヲクニチガヘテ。人ノ知

リガタキ所ヲ發ス。サレドモ **人莫不飲食也鮮能知**ナレ。此意ハ章旨ノ重キ所ニアラス。

味也味。飲食ハ日用ノ道ニタトフ。味ハ道ノ中處ニタトフ。ソレ道ハ日用常行

偏ナルニヨリテ。日々ニ此道ニ由リナガラソノ時中ノアル處ヲ察セス。コトヲ

以テ。事ヲ處置スル所。ツ子ニ過不及ノツイエアリ。蓋シ人ノ飲食ニラケル。全

ク味ヲ知ラサルニハアラサレドモ。ヨク五味ノ中正ヲ知ル者ハ。調和ミナ宜キ

所ヲ得テ。少モ偏勝ナレ。コレナラフ人ヨク義理ノ中正ヲ知ル者ハ。其情發ノ

皆節ニアルカ如シ。ヨリテ此タトヘラレ
右第四章此章ハ又聖言ヲ引テ。人中庸ヲヨクス
ルコトナキ世ヲクハレシトケルナリ。

子曰道其不行矣夫 此語ハモト夫字只世ノオトロヘテ人
道ニ志ガ、ガルコトヲ歎キテカクノ如
クナラバ道ハソレツイニ行ハルベキカトノ至ヘルヲ子思コレヲ
引テ世ノ人道ヲ明ニセサルニヨリテ行ハズト云意ニトレリ。

右第五章

此章ハ上章ノ道明ナラサルニヨリテ行ハレサルノ
意ヲウケ來リ道行ハズト云語頭ヲアケテ下ノ
章舜ノ太知ノ如クニ過不及ナクノ後ニ行ハルベト云意ヲオコエリ
説ニ此章第一章ヨリ下ヲスベタル詞ナリ行ハズト云内ニ明ナラ
サル意ヲモフクメリヨリテ第六章ヨリ十一章ニテ智仁勇ノ三徳ヲノ
ベテ此道ノ行ハルベキ方法ヲ示セリト云此説モヨク太意ヲ得タルニ
似タ

子曰舜其大知也與 太知トハ智慧ノ
大イナルヲ云

是ヨリ下舜ノ太知タル所ノ實自ソノ知ヲ用ヒスレテ
人ニトリテ用ルニアルコトヲ云述言トハ過ハチカキナリ

舜好問而

好察邇言 是ヨリ下舜ノ太知タル所ノ實自ソノ知ヲ用ヒスレテ
人ニトリテ用ルニアルコトヲ云述言トハ過ハチカキナリ

是ヨリ下舜ノ太知タル所ノ實自ソノ知ヲ用ヒスレテ
人ニトリテ用ルニアルコトヲ云述言トハ過ハチカキナリ

淺近ノ詞ヲ云蓋レ舜道理ヲ人ニ問コトヲ好ミ淺近ノ言トイヘ凡必察ヲ
加ヘテ善アレバ則コレヲトルヲ好ム然レバ其キ、ノコセル善言ナキコトヲ
知ルベシサレ凡コレ舜其意ヲツケテカクノ如クレ玉フニアラス又皆外ノ人
ヨリ見タテ、イヘル詞ナリ蓋レ聖人ノ心公道ト一ツナリ故ニ見聞感觸ス
ル所ニ至理アラハズト云コトナレヨリテ自然ニ問コトヲ好ミ カクレテ 隱惡而
揚善 人ニトル所ノ言モレイマダ善ナラザル者アレバラレカクレテ
人ニ善ヲ以テコレニ告ルコトヲ樂シムヨリテ善ヲ得ルコトヲ多キナリ
執其兩端用其中於民 諸人ノ議論善ナリトイヘドモ
亦ソノ事ヲ處置スルノオモハク
テラ太小厚薄トレカラス所アリソノ一端ハ大ノキハミリソノ一端ハ小
ノキハミリニテ自餘ノ太小モ皆ソノ間ニアルヲ兩端ト云コレヲスヘトリ
テカシガヘハカリ其的中ノ處ヲアケテ民ヲオサムル政ニホドコレ用フト
ナリコレ其エラフコト精審ニノ行フコト至極セリ然レドモワカ心ノ權度クハ

レクタルカニノ。タカハサルニ
アラサレバ及ニカタキ所ナリ。**其斯以爲舜乎。**ソレカクノ如キ
ト稱メ。其聖徳ヲアラグトナリ。蓋レヨク問ヒ察スルヲ好シ。兩端ヲ執テ其中
ヲエラビ用ルハ愚者ノ不及ニアラス。必ソノ中ヲ得テ用ルハ又智者ノ過ニ
アラス。即コレ中道。
行ハルノ故ナリ。

右第六章

是ヨリ下六章ハ知仁勇ノ三徳ヲ骨ヲト
ナレトク。此ト下トノ二章ハ智ノナリ。

子曰。人皆曰予知。世ノ人三ナ自イフ。ワレ智アリト。コレ事ノ
イヘカテ。イルレ庄。コクワカシセイン。ウチニレカモ。
驅而納諸罟獲陷阱之中。而莫之知辟
也。コレ下ノ段ヲイハシタメニ。此詞ヲウク。詩ノ興ノ如シ。驅テ納ル
ト公ヲヒイル。ソ。罟獲陷阱ハ三ナ鳥獸ヲトル所ノ者ナリ。罟ハ二
獲ハラリユイテ。内ニ入レバ出ラレス。陷阱ハラトシエナナリ。財利色欲等ノ
三ナヨク人ヲ害スルヲ知リナガラ。ナラコレニカハリテ。禍ヲトルハ則ソ

ノタメニ。ゾヒ入レラル。ガ如クナレ。常ニ
戒メテ。其禍ヲノガレサクルヲ知ラス也。**人皆曰予知。**コレハ自
エラフ。フクハレキト。エラドモ。
云意ヲ以テイヘリ。**擇乎中庸。而不能期月守也。**期
メグルナリ。月一メグリヲ期月ト云。中庸ノ理ヲエラビ用フトハ。ロニイヘ。一
月ノ間モ。コレヲ身ニ守ル。アタハス。蓋レ真ニ中庸ヲ知ル者ハ。必ヨクコレヲ
守ル。コレハ自擇トイヘドモ。イ
マダ真ニ知ラザルガユヘナリ。

右第七章

此章ハ上ノ太智ヲウケテ。人自ワレ智アリトイヘ
トモ。禍ヲサクルヲ知ラス。中ヲ守ル。アタハス。ガ

クノ如キノ智ハ用ヲナサズ。行ヲタスクル所ナキヲ云。則又コレヲ
以テ。道ノ明ナラサル故ノ端ヲアケテ。必下ノ章。顔子ノヨク擇ビテ又ヨ
クコレヲ守ルガ如クニ。後ニ道明
ナルベレト云意ヲオコセルナリ。

子曰。回之爲人也。擇乎中庸。得一善。則拳

傲之

子路問強

子路公孔子ノ弟子仲由カ字ナリ。強ハツヨシ。子路勇ヲ好ム故ニ強ラシフ。サレドモ強ト勇トノ字義精粗ノ不同アリ。勇ハ只イサミス、ム意ナリ。強ハ自立ツ處ツヨクム。道ヲ任スル意アリ。

子曰南方之強與北方之強與抑而強與

南方トハ中國ヲサス。北方ハ北狄ナリ。北ニ對シテ云ニヨリテ。中國ヲ南方ト云ナリ。抑トハサニアラスメコレト。語ヲカヘシ。重キヲ云詞ナリ。而カ強トハナンチラ學者ノタツトフベキ所ノ強ナリ。蓋シ南北ノ強ハ土地ノ風氣ニヨリテ異ナリ。學者ノ強ハ風氣ニカ、ハラスメ。道ヲ以テ主トス。未チ此三ツヲアケテ。子路ヲ自エラバシメ玉フ。其義ハ三ナ下ノ段々ニ見エタリ。

以教

是ヨリ南方ノ強ラレク。寬ハユタカ。柔ハヤワリク。人ヲ教ヘサトスコト。寬ニエラビフセク所ナク。柔ニレテサカハスレ井ス。

報無道

人スチナキコラ以テ來レ死タ。南方ノ強也。南方ノ強ハ柔ニスキテ。剛ニカ入ニ勝コトアルノ稱ナリ。南方ハ風氣和暖ナルニヨリテ。其人柔弱ナリ。コノ故ニ含忍ノカ入ニ勝ヲ以テ。強トスルコト。上ニ云カ如シ。

南方之強也。南方ノ強ハ柔ニスキテ。剛ニカ入ニ勝コトアルノ稱ナリ。南方ハ風氣和暖ナルニヨリテ。其人柔弱ナリ。コノ故ニ含忍ノカ入ニ勝ヲ以テ。強トスルコト。上ニ云カ如シ。

子居之

此君子ハヒロク善人ヲサレテ云。南方ノ強ハ柔ニスキテ。剛ニ及バサレドモ。亦忠厚ノ道ナルヲ以テ。君子ノ居ル方ニ屬ス。

衽金革死而不厭

衽者ナリ。衽ハ衣ノ類ヲ云。革ハカハナリ。甲冑ノ類ヲ云。古公華ニテツクレバユリ。コレヲ衽ニストハ常ニ武具ヲハナタス。コレトナシ安ニスルヲ云カクノ如ク。平生ノ志。死ニオモムクコト。北方ノ強也。北方ハ風氣嚴肅ナルニヨリテ。其人剛勁ナリ。コノ故ニ暴敵ノカ入ニ勝ヲ以テ強トスル。上ニ云カゴト。

衽金革死而不厭。衽者ナリ。衽ハ衣ノ類ヲ云。革ハカハナリ。甲冑ノ類ヲ云。古公華ニテツクレバユリ。コレヲ衽ニストハ常ニ武具ヲハナタス。コレトナシ安ニスルヲ云カクノ如ク。平生ノ志。死ニオモムクコト。北方ノ強也。北方ハ風氣嚴肅ナルニヨリテ。其人剛勁ナリ。コノ故ニ暴敵ノカ入ニ勝ヲ以テ強トスル。上ニ云カゴト。

而強者居之

此強ハ剛ニスキテ。柔ニ及ハス。モツハラトシ。血氣ノ強ヲ事トスル者ノ居ル處ナリ。故

君子和而不流

上ヲウケテ云。南北ノ強ハ風氣ノナラハレニテ。カクノ如クニ偏ナリ。カレカ故ニ學者ノタツト

中立而不倚

矯ハ即ツヨキ貞。其強ツヨキコトクノ如クニ矯タリトソスヘテホメナケキタル言ナリ。ト三ナ同シ。

強哉矯

矯ハ即ツヨキ貞。其強ツヨキコトクノ如クニ矯タリトソスヘテホメナケキタル言ナリ。ト三ナ同シ。

中立而不倚

矯ハ即ツヨキ貞。其強ツヨキコトクノ如クニ矯タリトソスヘテホメナケキタル言ナリ。ト三ナ同シ。

強哉矯

矯ハ即ツヨキ貞。其強ツヨキコトクノ如クニ矯タリトソスヘテホメナケキタル言ナリ。ト三ナ同シ。

中立而不倚

矯ハ即ツヨキ貞。其強ツヨキコトクノ如クニ矯タリトソスヘテホメナケキタル言ナリ。ト三ナ同シ。

強哉矯

中立トハ獨立ノ義ナリ。中間ニヒトリ立テ。四旁ニヨリカ、凡所ナキソ。コレバ、レヲ持テ強ラ云。

國有

道不變塞焉強哉矯

塞ハラサガルナリ。下ニ居テ、イニタ達セサ。ル時ラ云、国道アリテ、イデツカフル時モ、

國無道至死不變強

哉矯

國道ナクノ窮難ニアフ時モ、平生守ル所ノ志ヲ死ニ至ルニテ變セズ。コレ貧賤ニモウツサレズ。威武ニモカ、メラレサルヲ云。ソレ

強ハ其カ人ニ勝テアルヨリモ、ヨク自勝ラ以テ難レトス。此四ツノ、自ソノ私欲ニ勝者ニアラザレバ、能セズ。君子ノ強、イツレカコレヨリ大イナラン。夫字コレヲ以テ、子路ニツケテ、至フハ、ソノ血氣ノ勇ヲ。ラサヘテ、徳義ノ勇ニス、コレメンガタメナリ。

右第十章

此章の上ラウケテ、カノ中庸ノ能スベカラザルコトヲ、必ラ君子ノ強ノ如クノ後ニヨクエラシメテコレヲ守ルニチカ、ルベニ、ラ示セ

リスヘテコレ勇ノナリ。

子曰索隱行怪後世有述焉吾弗爲之矣

索隱トハカクレテ人ノ知リガタキ理ヲウガチモトメテ、知ルコトヲ云行怪トハコトヤウニテ、人ノタヘガタキワザヲ、レ非ツトメテ行フコトヲ云カクノ如クナル者ハ世ヲアザムモ、名ヲヌスムニ足レルヲ以テ、後世或ハツタヘノベテ、稱美スルコトアリ。サレ、凡吾ハコレヲスミジトナリ。蓋シ索隱ハ知ルコトノスキテ、善ラ

エラハザルナリ。行怪ハ行フコトノスキテ、中ヲ用ヒザルナリ。知行共ニスキナカラ。コレニ居テ、自ウタカハサルハ、コレ強ナルニ、レキコトニ強ナルナリ。ソレ知ルハ、智ノコト。行ハ、仁ノコト。其勇ヲ用ルコト。アタラザルニヨリテ。君子遵道而

行半途而廢吾弗能已矣

此君子ハヒロク學者ヲ以テ云。下同。半途ハ中途ナリ。君

子ハ道ニレタカヒヨリテ行フコレヨク善ラエラハナリ。サレ、凡コレヲ守ルニタヘズ。中途ニノヤム者アリ。吾ハキムコトヲバエゼレトナリ。蓋シ其知ルコトコレニ及ヘトモ、其カタラス。行フ所及バズコレ強ナルベキコトニ強ナラヌ也。又ソレ勇ナキ故ニ、仁モ其功成ラズ。智モ其用ヲナサズ。聖人コトニ、ニライテ

ヤニガルコトツトムル所アリテ。敢テヤニガルニハアラス。只コ
レ至誠ノ徳息ヲナクシテ。ラノツカラヤムコトアタハサルナリ。 **君子依**

乎中庸。遯世不見知而不悔。唯聖者能之。

君子中庸ノ道ニヨリテ。常ニ相ハナシズ。モレ時ヲ得ス。世ヲノカレ。人
ニ知ラズ。トイヘドモ。身ヲ終ルニテ。クヒウラムコトナレ。ソレ君子ニモカク
ノ如クナルコトハ。タ、聖者ノニコレヲ能シテ。他人ノ及ブ所ニアラズト也。
蓋シヨク中庸ニヨルハ。コレ索隱行怪ニアラス。世ヲノガレテ知ラレザレ。凡
ツイニ悔ルコトナキハ。コレ半塗ニモヤムコトアタハサルナリ。コレ則中庸ノ成
徳。聖人ノ地位。智ノ盡キ。仁ノ至リ。勇ニヨラス。自然ニユタカナル者ナリ。コレ
ニサレク。吾ガ夫子ノコトナレ。凡ナラフ自コレニ居玉
ハズレテ。タ、聖者ノニコレヲ能ストノ至ヘルナリ。

右第十一章

子思夫子ノ言ヲ引テ。首章ノ義ヲノベラル、
コト。此章ニ止ル。蓋シ此書ノ大公子智仁勇ノ三
達徳ヲ以テ。道ニ入ルノ門トス。コノ故ニ。篇ノハジメニライテ。即太舜ノ
智顔淵ノ仁。子路ノ勇ヲ以テ。コレヲ明セリ。ソレ中庸ノ道至精至微ナ

ル故ニ。智者ニアラザレバ。コレヲ知ルニタラス。至正至大ナル故ニ。仁者ニ
アラザレバ。コレニ体スルニタラス。又ソノ須臾モハナルベカラズ。スミヤカ
ニナレガタキヲ以テ。必勇者ニ。然ノ後ニ。以テ自ツトメテ息ニザル
コトヲ得ベレ。コノ故ニ。モレ此三ツノ者。其一ツヲモスツル時。公則ヨク道
ニイタリ。徳ヲ
成スコトナレ。

君子之道費而隱

ソレ道。公天ト人ト相通ノ差別ナレ。サレ
ドモヨク此道ニ体スル者ハ。タ、君子人也。
コノ故ニ。凡ソ道ヲ論スルニハ。律々君子ノ道ト云ナリ。費トハ物ヲ用ルコト。千
ハシリナキ義ナリ。蓋シ道ノ發見流行スル所ユクトノアラスト云コトナク。時ト
レテツクルコトナレ。凡ソ言語ノ稱説形。スベキ所ニ。是ナリ。其用ノ廣大ナ
ルコトカクノ如シ。而メ其然ルユヘニ。体ハ隱微ニ見聞ノ及ブ所ニアラス。ヨリ
テ費ニノ隱ナリト云本。
夫婦之愚可以與知焉。 道ノ費
意ハ費ヲトク方ニ重シ。ハ。大小

遠近ガ子ツラヌカスト云所ナレ。モレソノ近小ナルヲ以テ。云時ハ匹夫匹婦ノ愚
癡ナル者トイヘ。凡亦知ル人ナニニアツカリテ。聖人ノ知ルトコロニモ。サセルカハ

及其至也雖聖人亦有所不知焉至レルト

アケテ。キハメツクス。ス。ラ。云。聖人トイヘ。人ハ人ナルニ。ヨリテ。全体盡頭ニ及テ。公亦其間ニ知ラザル所ナリ。夫婦之不肖

可以能行焉及其至也雖聖人亦有所不能焉此

能焉句義並ニ上。文二同じ。天地之大也人猶有所憾此

ニライテ。知ラズ。能セザル所アルノ。ニニアラス。天地ノ徳ノ大イナルトイヘ。ソノ氣運造化ノ間ニハ。ナラノ心ニ足ラス。メウラメレキ所アリ。故

君子語大天下莫能載焉此

語小天下莫能破焉此

ナル故ニ。コレヲノセテ。其外ニ出ル。アタス。下ノ至小ナル故ニ。コレヲワリテ。其内ニ入ル。アタス。蓋レ道。公モト大小ノワケナレ。コレヲ語ルニ。ヨリテ。大小ワカル。ナリ。詩云

鸛鳴戾天魚躍于淵詩公大雅旱麓ノ篇ノ詞ナリ。上。文

トモイ。一。ダ。化育ノ流行活動ノオモムキヲ見得ズ。此詩ヲ引テ。其意ヲ

ト躍ト。公。即化育ノ機ナリ。只コレ上ト下トニライテ。此ニツラアゲテ。凡ソ天地ノ間ニ充補スル所。洋々トメ。皆カクノ如クナル。ヲ示セリ。言

其上下察也コレ子思詩ヲ釋スルノ詞。其ト公道ノ体段ヲサス。云意ハ此詩ノ詞。凡ソ道体ノ流行活潑スル。上。三

君子之道造端乎夫

婦此ヨリ下二段。上。ラウケ。來リ。君子道ニ体スルノ工夫。ライヒテ。上。支。ラ

及其至也察乎天地至レ

メヲナス所。公。夫婦。日用ノ。近小。ナル所。ヲ。レ。ム。ニ。アリ。ト。ソ。及。フ。公。上。ノ。義。ト。同。レ。天地ニ察ナル。公。即。上。下。察。ナル。ノ。意。サ。レ。ト。モ。上。ニ。公道ノ流行ノ明ナルコトヲ云。コ。ニ。公道ノ充補ノ明ナル。ヲ。云。ナリ。

右第十一章子思之言蓋以申明首章

道不可離之意也上中庸ノ義ヲ論メステニラハレ

テ此道ノ廣大ナル在ラズト云所ナク至ラズト云所ナキコト 其

下八章雜引孔子之言以明之下八章ノ字

聖言ヲ一レハ引テ

子曰道不遠人道ハコレ人ノ道ナリモト人ノ本性ニシタガフ

人之爲道而遠人不可以爲道事理ノ當然ニシタレモヨク行フ所ナリ

人モレ道ヲ行フトモ平常ナルコトラスルニ足ラスト思ヒ高ク怪シ

詩云伐柯伐柯其則不遠詩ハ關風伐柯

執柯以ノ篇ノ詞柯ハ

伐柯睨而視之猶以爲遠柯ヲモチテ柯ヲキレバ其

故君子以法チカキニテリトイヘ亦彼ト此トノ異ナルニヨリ

入治人人ノ道トスル所ハ即人ノ身ニツキハリテ彼此ノヘダテテ

改而止亦人ヲ責ルニラノク其ヨク知リヨク行フ所ヲ以

忠恕違道不遠忠トハワカ心ヲフ

キヲ云恕トハワガ願フ所ヲ人ニラシ及ホレテ亦ソノ願ヒノ如クナラシ

忠恕違道不遠

十一

ト影トノ如シ。体用ノ分アルノミナリ。ゾレ人ト人ト。此心同シク心ト心ト。此道同シキ故ニ。人ニ遠カラズ。道ヲ行ハントナラバ。ソノ手ヲ下スエ夫忠恕ニレクハナシ。ヨリテ此ニ學ヲゴトサラニアゲ示ス。道ハ即人ニ遠カラズ。道ナリ。忠恕ヲツトムル時ハ。此道ヲ得ルニ近シ。此ヨリ彼ニ至リ。相サルノ間遠カラズナリ。**施諸已而不願。亦勿施於人。**是即恕ノイナリ。勿レトハ。自イニ

シムル詞。施ストハ。レカクル義ナリ。蓋レ己ガ心ヲ以テ人ノ心ヲハカリ。ニルニ同シカラスト云フナレ。コレ道ノ人ニ遠カラザルヲ見ツベシ。ゴノ故ニ。己ガ身ニカケテ。願フマレキコトヲ。人ニモレカケレト。自イニレシメトバムルハ。即亦人ニ遠カラズ。道ヲ行フノコトナリ。**君子之道**

四。此ヨリ章ノ終ニ至ルニテ。ミナ人ニ遠カラザル道ニ体スル者ノ事トシテ。ツトムル處ヲ説ク。四ツトハ。下文ノ父子君臣兄弟朋友ヲサス。人ノ大倫也。**在未能一焉。**コレ夫子ノ謙詞ナリ。サレバ聖人ノ心ニイニ。ミナ**所求**

平子以事父未能也。此ヨリ下四句。ミナ忠恕ノ意ヲウケ。來リ説ク。求ムトハ。責ル義ナリ。云意

ハ人ノ子ヲタラシ者ニセメ行ハシムル所。コレヲ以テ。ウガ父ニツカフニツルコト。ワレイニ。ダコレヲ能セストナリ。凡ソ人ニ責ル所ハ。ミナ道ノ當然ナリ。コレヲ已ニ反シ。自セメ修ムルハ。即恕ノ意ナリ。**所求平臣以事君未能也。所**

求平弟以事兄未能也。所求朋友先施之

未能也。句義ニ。ナ上ニ同シ。同門ヲ朋ト云。同志ヲ友ト云。先施ストハ。ワガ方ヨリ。ツレカクル義ナリ。五倫ノ目。夫婦ヲノモハサル

コトハ。婦ニ求ル所以テ夫。庸徳之行。庸言。之謹。庸言モ。亦其間ニテ云フナリ。コレヲ行フトハ。ヨク

トハ。即上ノ人倫ヲサス。庸言モ。亦其間ニテ云フナリ。コレヲ行フトハ。ヨク。其事。實ヲフム。コレヲ謹ムトハ。ヨク。其可ナルヲエラビ。不可ナルヲイマレ

ム。コレ上ヲウケテ云。カクノ如キノ。庸徳ヲ行ヒ。庸言ヲツ。レムト也。**有所不足。不敢不勉**

ラツトムレバ行フ所ニス。ス、ム言ヲ謹ムトイヘドモ。心ニ
ナラ餘アリトノ。必ツクサレトスレバ謹ムコトニス。至ル。言顧行

行顧言。顧ルト公彼ト此ト見アハス義ナリ。君子コレヲ顧ルニハ
ハル所ナレ行ラツトムルノ至リ公行ヨリ言ヲカヘリミルニ

餘アル所ナレ。スベテ言行相應。少モタガハサルヲ云。君子胡
不慥慥爾。造々公篤實ナル見ナリ。云意ハ君子ノ言行カクノ如シ。豈

ヨリイデ、少モウキ。タルトコロナキヲ云。右第十一章。上ノ章ニ道ノ用廣大ナルヲ説ク故ニ入コレ

ノ能セサル所ナリ。スベテコレ彼ノ費ナリトスル所ニメ。其然ルユ
ヘシノ隱。則其中ニアリ。下ノ章モ亦コレニナズラヘテ見ルベシ。

右第十一章

君子素其位而行。不願乎其外。素公現在ノ意。君子
ニ現在ノ。其位ニテスベキ所ノ事ヲ行ヒ。少モ其外ヲ願フノ心ナレ。心ハ即
事ノ中ニアリ。兩頃ニアラス。此ニ句ヲ一章ノ綱トシ。下文ニコレヲ詳ニス。

素富貴行乎富貴。素貧賤行乎貧賤。素夷
狄行乎夷狄。素患難行乎患難。是ヨリ其位ニ素
レテ行ノヲマシ

久富貴貧賤等ハコレ其居ル所ノ位ナリ。コレヲ
行フトハソノ富貴貧賤等ヲ處置スル道ヲ行フ。君子無人而
不自得焉。入ルト公身ノ入りテ居ル處。上ノ富貴貧賤等ノ外ヲモ

ソノ道ヲ得テ。ソノ居ル所ノ。ニ安ニセスト。在上位不陵下。
云一ナレ。此句亦ステニ。其外ヲ願ハサル意アリ。是ヨリ其外ヲ願ハサルノヲトク。又コレ上

在下位不援上。位ト下位トアラゲテ。其居ル所ノ位ヲソクス。

在下位不援上。位ト下位トアラゲテ。其居ル所ノ位ヲソクス。

在下位不援上。位ト下位トアラゲテ。其居ル所ノ位ヲソクス。

在下位不援上。位ト下位トアラゲテ。其居ル所ノ位ヲソクス。

在下位不援上。位ト下位トアラゲテ。其居ル所ノ位ヲソクス。

凌下ト公下ニアル者ノ我ニ願ハシテ求メテ威ヲホドコレテコレヲラ
ドスゾ。授上ト公上ニアル者ノ我ヲメグニシテ求メテ其勞ラヒキタノム
ゾ君子ハカクノ
如クセサルナリ。正己而不求於人則無怨。此段公只コ
意ヲ足ス下ラ陵カズ上ラ接カズノヒトリ巴ガ身ヲ正クスル公即亦其位ニ
素ソ其道ヲツクスノ意アリ。人ニ求メガレ公即其外ヲ願ハサルナリ。公ニ求
メガレ時公則怨ムベキ所
ナシ。兩層アルニアラス。上不怨天下不忤人。コレ亦怨ナ
トクモレソレ人ニ求メズトイヘテソノ志ヲ得ガレ時命ニユタテ安ズルモ
ナラ天ヲ怨ル意アリ。巴ヲ是トシ人ヲ非トスル所アルモナラ人ヲ尤ル意ア
リ。君子ハタエ
テ此念ナシ。故君子居易以俟命。子其位ニ素ノ行フ。當然
ノ道公ヲノツカラ平カニメヤスラカナリヨリテ易キニ居ルト云居ルト公安ニ
スル意アリ。而ノ其アフ所ノ吉凶禍福ハ天命ノ來ルニカセテコレヲニチウ
ク。是其外ヲ
願ハサル也。小人行險以徼幸。險トハ患難危険ノミナ
ラス。凡ノスレキ所ヲスル

ハヨナ險ナリ。此句ハ上ノ句ト字々ニ相及ス。只コレ小
人ノ行ヲ以テ。君子ノ徳ヲウラカヘレアラハス其意カロシ。子曰射

有似乎君子失諸正鹄及求諸其身。正鹄公ニ
的ノ名。布ノ候ニエカクヲ正ト云。實射ニコレヲ用フ。皮ノ候ニシクヲ標ト云。本
射ニコレヲ用フ。云意ハ。射ノ法ハ君子ノ道ニ似タル一アリ。モレ其的ニハツル
レバワガ身ニ及リ求ムト。蓋シ君子ハ巴ヲ正ウノ外ニ求メズソノ行ナハレガ
ル一アレバ已ニ及リ求メテ自ミソナハシ其イニタ足ラサル所アレバコレヲ
盡スト云意ヲ以テトナ
文ヲムスベルナリ。

右第十四章

此章公字思ノ言ナリ。其意音ニ子曰ノ字ナキ者
同レゴレ上ノ章ヲウメテ云道ステニ人ニ遠カ
ラガレハ君子タゞ其居ル所一ヨリテ。當然ノ道
ヲツクシ。外ヲレタフノ意ナカルベシトナリ。

君子之道辟如行遠必自邇辟如登高必

自卑

コレ上ノ道ノ費ヲウケテヌ。ソレ道ハ在ラズト云所ナケレバ。ソノコレニス、ムト公必次序アリトナリ。タトヘノ意。邇ハコトヲサヘ。遠ト高トハコレ君子徳ヲナスノコトヲサス。詩云妻子好

合如鼓瑟琴

兄弟既翕和樂且耽

室家樂爾妻孥

父母其順矣乎

子白

又此語ヲヒキテ。遠キニユキ。高キニノボルノ意ヲ明ス。

右第十五章

子曰鬼神之爲德其盛矣乎

コトニ名ツク。ワカチテ云時ハ陰ノ靈ヲ鬼ト云。陽ノ靈ヲ神ト云。サレドモ陰陽ハ

爲德ト云時ハ人ノ爲入處ヲ云カ如シ。其往來屈伸ノ造化ヲナス性

情ト。其功ナレル効トヲサレテ云ナリ。其盛ナル義ハ下文ニ詳ナリ。視

之而弗見聽之而弗聞

物而不可遺

使天下之人齋明

三三二

盛服以承祭祀

齊明トハモノイニスルゾ。齊ハ心ヲムラナクトトノノヘテ。專ニスル義ナリ。明ハイサキヨキゾ。必齊明盛服メ其礼。洋洋乎如在其上如在其左右。洋洋乎如在其上如在其左右。洋洋乎如在其上如在其左右。洋洋乎如在其上如在其左右。

詩曰神之格思不可度思矧可射思

引テ。上文ノ意ヲ明ス。云意ハ鬼神ツ子ニワカ身ノトニソシ居テ我ワヅカニ感スルコトアレハ則必來リテコレニ應ス。ソノ感應ノ機ハカリレリカタシ。是即洋洋トシ。其上ト左右ニ在スガ如クナルノ意ナリ。又云其キタルコトハカラルハレバ。時トノ敬畏セザルコトヲ得ズ。レカルヲ况ヤコナタヨリ。イトヒヲコタリ

夫微之顯

誠之不可揜如

テ敬セザルコトヲ得シヤト。是即人ヲノ齊明盛服レテ。祭祀ニツカフニツラレムルノ意ナリ。夫微之顯。微ハ即規レ。聽ケルキコエザル意。顯ナリトハソノ物ニ体メノコサレズ。洋洋トノ在スガ如クナルコトヲ云。誠トハ道理ノ眞實ニメ妄ナキヲ云。凡ソ陰陽ノ造化實理ノナス此夫。所ニアラズト云コトナレ。故ニ其發見ノアキラカニメ。オホハレザルコトカクノ如シト。則此ニ段ヲ以テ。上文ノ意ヲスベテムスベルナリ。

右第十六章

此章ノ内。見テ聞テハ隱ナリ。物ニ体レ。在スガ如クナルハ則亦費ナリ。此ヨリ前三章。費ノ小キナル者ヲ云。此後ヨリ下三章。費ノ大イナル者ヲ云。此章ハ費隱ヲカチトキテ。費ノ大小モ亦其内ニフクメリ。

ツツツ

中庸第十六章
子孫保之

夫天之所賦... 子孫保之

四書示蒙句解卷二十八中庸下

子曰舜其大孝也與オナカ オナカ 德

為聖人タリ タリ 尊為天

子コト コト 富

有四海之內カイン カイン 宗廟

饗之ウケ ウケ 子孫保之コト

虞ノ君思陳ノ胡公ノ類ヲサス皆舜ノ後タル諸侯ナリ世々封爵ヲウケマ

上
ツ
ル
終

大孝ノコトナリ。故大徳必得其位。必得其祿。必得其

名。必得其壽。コレ大徳舜ノ如クナル人アレバ。必其相應ノ福祿ヲ得

ル。富天ヨリ命ズル祿ナレバナリ。名ト公聖徳ノホミレ。天下後世ニテキラカナ

テ。世ヲ治メ民ヲ安ジユフ人ナルニヨリテ。天ヨリテ。故天之生物必四

其材而篤焉。材ハ才質ナリ。物ノ量ヲ云。尤ソ天萬物ヲ生育スル

トコス。亦篤ク大イナリ。コレ又自然ノ天命ヲ以テ。故裁者培之

傾者覆之。コレ又草木ノ生意ヲ以テ。其材ニヨリテ篤ウスル。故

詩。聖人福祿ヲウクル。必然ナル。天命ヲ以テ。故裁者培之。傾者覆之

曰嘉樂君子。憲憲令徳。詩ハ大雅假樂ノ篇ノ詞。君子ハ

于天。臣民ト相ヨキ。故ニ福祿ヲ天ニウクルゾ。宜民宜人受祿

自天申之。天ヨリ此君ヲ保シ佑ケテ。福祿ノ命ヲカサ子トクダ

故大徳者必受命。受命トハ天命ヲウケテ。天字トナルコ

ト云。コレ上ノ天意ト詩意トウケムス。故大徳必得其位。節ニ應ズ

公必保佑ノ命ヲ受。ト。此説モ然ルベシ。

右第十七章。此章子思ノ聖語ヲ引キ用ラレ、意孝ハ庸行ノ

事ナリトイヘ。至極ハ大徳ヲ成シ。天命ヲ

受命トハ天命ヲウケテ。天字トナルコト云。コレ上ノ天意ト詩意トウケムス。故大徳必得其位。節ニ應ズ

公必保佑ノ命ヲ受。ト。此説モ然ルベシ。

受ルニ至ルヲ以テ。費ノ用ノ大イナルヲ示ス而ノ其、
然ルユヘシノ者公体ノ隠ナリ。後ノ一章モ皆此意ナリ。

子曰無憂者其惟文王乎。無憂ト公ヨロツ恩ヒノニナ
ルコトヲ云此事下ニ見エタリ

以王季爲父以武王爲子父作之子述之

王季ハ文王ノ父武王ハ文王ノ子。王季仁徳ヲツミテ王業ヲツトムコレ父ナス
所アリ。武王天下ヲタモチテ。文王ノ徳業ヲヒロムコレ子述ル所アリ。蓋レ文
王道ヲツクセル聖人ナリトイヘ。王季ヲ以テ父トヒサレバ其作セル所トノ述
ベキ事ユシ。武王ヲ以テ子トヒサレバワカ作ス所ヲヨク述ル者ナシ。文王俱ニ
コレアリヨリテタゞコレノミヲ憂ナ
キ人トスコレニテ文王ノヲラトク。

武王續大王王季文

王之緒。是ヨリ武王ノ事ヲトク。大王ハ王季ノ父ナリ緒ハイトクチ
ナリ。事ノ端ヲ云。大王王業ノモト井ヲハジメテ王季コレヲ

ツトメ文王ニ至リテ。天下ニ分ノニラタモツノ類ヲサス。武王ニテ
世ノ徳業ノ端ヲツギテ。大イニコレヲ成セリ。下ノ文即其事ナリ。壹戎

衣而有天下。イノ衣ト公我ハ兵ナリ。甲冑ノ類ヲ云。武王タゞ一タヒノ
イクサニテ。殷紂ガ暴虐ヲウチ。則天下ヲタモテル也

身不失天下之顯名。武王ノ聖徳ノノ身モトヨリ。天下ニ顯カ
ナル名譽アリ。今其君ヲウツトイヘ。凡

尊爲天子富有四

海之内宗廟饗之。子孫保之。文義ニナ上ノ章ニ同ジ
蓋レ武王モ罪ヲウチ。世

武王未受命周公成文武

之徳。是ヨリ周公ノ事ヲトク。周公ハ武王ノ弟ナリ。武王ハ十七歳ニシテ
天下ヲ得玉フ故ニ。オイテ命ヲウクト云。其後ワツカニ六年ニシテ

成セリ。コノ故ニスヘテ文武ノ徳ヲ成スト云。其事ハ下文ニ見エタリ。追

王大王王季。追王ト公其死後ニ追ヒテ王号ヲ加ルコトヲ云。蓋レ
大王王季ハ三ノ殷ノ諸侯タリトイヘ。凡。周ノ王業ノ

オコル所ヲ推シタツ子テ。皆コレニ追王ス。文主モ追号ナレド。
コ、ニノラサルコト。武王ノ時ステニ追王セル故ナリト云。
上祀先

公以天子之禮。先公ト公周ノ太祖后稷ヨリ。太王ノ父祖紺ニ至
ルニテ。千餘代ノ先君ヲ云コレ亦太王王季ノ

意ヲ推テ其先代ニ及ホシ。追王セストイヘ。凡コレヲ祭ルニハ亦天子ノ礼ヲ
以テノ尊敬シ玉ヘルナリ。以上ハ文武ノ孝ヲ以テ。先祖ニ奉セラル、徳ヲ成セル

ナリ。**斯禮也達平諸侯大夫及士庶人**。斯禮ト公連
以テ先公ヲ祭ル禮ヲサス。此礼意ヲ下
ニ通達ノ行ハレム其事下ニ見エタリ。

父爲大夫子爲士葬
以テ先公ヲ祭ル禮ヲサス。此礼意ヲ下
ニ通達ノ行ハレム其事下ニ見エタリ。

以太夫祭以士。葬礼ニ死者ノ爵位ニシタカフハ其身ニツキタル
コトナレバナリ。祭礼ニ生者ノ官禄ヲ用ルハ敢テ

其分ヲコエサルナリ。此段公周以前ヨリアリ來レル法ナレド。下ノ段ノ意ヲオコ
サシタメニニツイヘルナリ。又葬禮ヲ合セテ云ハ祭禮ノ義ヲ相アラハサシガタメ

ナリ。其意オモカラス。又太夫士ライヒテ。庶人ニ
及ハサルモ。例ヲ以テ推シ知ルベケレバナリ。
父爲士子爲大

夫葬以士祭以太夫。祭ニ太夫ノ禮ヲ用ルハ即上
ノ禮意ノ下ニ達スル所ナリ。

之喪達乎大夫。凡ソ喪祭ノニ禮ハ相ハカリテ制スル者ナルニ
ヨリテ祭礼ノツイテ又コレニ及ベリ。期八年一

メダリノ喪ヲ云コレハ士庶人ヨリ。上太夫ニテニ通達ノ。三十同レナリ。大小
功總麻ノ喪ハ太夫ソノ位貴キニヨリテ。三十等ツクダレテキル。天子諸侯

ハイヨク貴キニヨリテ正統ノ期ニ服スルノ外。旁親ノ期并ニ大小功總ノ服ス
ベテ。皆コレヲタツサレドモ天子ノ臣トセサル所ノ人。諸侯太夫ソノ位同キハノ

タメニハ皆
コレニ服ス。**二三年之喪達乎天子**。士庶人ヨリ。上天子ニ
達シテ同レコトナリ。

父
母之喪無貴賤一也。コレ上ノ句ノ意ヲ釋ス。父母生者ノ
ハ貴賤コトナラザル故ニ其服モ亦一

様ナリ以上ハ文武ノ孝ヲ以テ天子
ヲ治メラレツル徳ヲ成セルナリ。

右第十八章。此ヨリ下ニ章モ子思聖詩ヲ引キ來リ。周ノ君
孝ヲ以テ先世ノ徳ヲ成シ礼祭ヲソナヘテ太平

中庸

ヲ致セルヲニヨリテ養
ノ大イナルヲ示セリ

子曰武王周公其達孝矣乎

是又上ノ章ノ意ヲカサ
子テトク達孝トハ達ハ

通ナリ其孝行ヲ天下ノ人通コレヲ奉
トスレバナリ其事ハ下文ニ見エタリ

夫孝者善繼人之志

善述人之事者也

此段武王周公ノ達孝ナル故ヲトク人トハ
親ヲサレテ云其志ノオモムキツルコトヲ

ウケツギテコレヲトク其事ノ端イテタルヲバウケツタヘテコレヲ述スサレ
ド志ヲモ事ニヨラザレハツガレス事ヲモ志ニ体セザレバノベテレズニツノ者
ツ子ニ相ヨル又コレヲ善クツギ善クノブルト云ハ只ツノアリツルニニ守
リナスノニアラス變通スベキ所アレハ則變通スルモ亦コレヲ善クスル也
蓋レ上ノ章ニ見エタル武王周公ノ所為コレ
ソノ志ヲツキ事ヲノブルノ大イナル者ナリ
春秋修其祖廟
是
リ下ハ繼述ノ内ヨリ祭礼ヲアゲテ詳ニトク亦ニ天子上ニコレヲ行ヒ
下諸侯大夫士庶人ニテモ其意ニヨリ通行ノヲノク隨分ノ孝ヲツクサレ

ムルノナリ春秋トハ四時ニナ祭レテコレハ二時ヲニレヘアゲテ冬夏ヲカ
スルナリ其トハ口ク祭禮ニアル所ヲサス謂下同じ祖廟公祖先ノ廟宇貴
賤ノ品ニヨリテ其數多ク少アリ

陳其宗器
義ナリ先祖ヨリツタハ
レヲ修ムトハ修理掃除スル也
陳其宗器
宗器トハ宗ハタツトブ
レル重寶ノ物ヲ云祭時ニコレヲツラチラク
衣裳モ祖考ノ
遺物ナリ祭ノ

設其裳衣
衣裳モ祖考ノ
遺物ナリ祭ノ
時ニウケラキ各ノノルトナル人ニキスルゾ戸ト
公神ノヨリナリ各其孫ヲタテコレヲモテナス
薦其時食
四時

宗廟之禮所以
是ヨリ下公祭禮ノ内ニツキテ祭ヲ主ル人相孝ノ意ヲ
ウケテ其祭ニアツカク瘞ヲ處置スルノ礼意ヲトク家
テアルヲカスタカヘズノコレヲスムルゾ

序昭穆也

是ヨリ下公祭禮ノ内ニツキテ祭ヲ主ル人相孝ノ意ヲ
ウケテ其祭ニアツカク瘞ヲ處置スルノ礼意ヲトク家

歷代ノ神ヲ合セツル時太祖ハ中位ニナリ其次ヨリ左右ニ行ニ
ナラヘテ左ヲ昭ト云右ヲ穆ト云世ゴトニ左右クミチカヘテ父字ハ相ムカ
ヒ孫ハ子ナ祖ノツギニアリ廟ヲタテナラブル序モ亦カクノ如シ而レテ
祭ニアツカク子孫モ亦コレヲ以テソノ位次トスル故ニ昭穆ヲ序ツト云

序ハトハ次第スルトナリ。蓋シ宗廟ニニ。世系ニニ。シテサレハ字ハ。孫タル者。其親ヲ親トシテ。祖考ニツカフニツル。大義ノアル所也。序爵

所以辨貴賤也。爵ハクヲ弁ナリ。祭ラタスクル異姓ノ人ヲハソノ爵位ヲツイテ。以テ貴賤ヲワク。蓋シ同姓ノ

人ハソノ世移ノ行ノ内ニテコレヲワク是尊ヲ尊トスルノ義ナリ。序事所以辨賢也。コレモ同

スベテ云。事トハ祭礼ノ諸役ナリ。事ノ大小ヲ以テ。其才ニ應ム。コレヲサツク

ルヲハ序事ト云コレ衆ノ中ヨリ。賢者ヲエリワキテ。有司トセニカタメナリ。コレ賢ヲ賢ト

スルノ義也。旅酬下爲上所以逮賤也。旅酬トハ旅ハモ

人ニ酒ス。ムル時ニツ自ノミテ後又クニテ獻スルヲ云コレ神ニ供ズル

コトヲハリテ後。御酒ノナガレテ。諸人相ス。メテ神ノ惠ヲアテテクヒキワ

タス礼ナリ。下トハ即賤者ヲサス。此賤ハ年ワカキ者ヲ云。上ノ貴賤ノ賤ト同

ジカラス。上トハ長者ヲ云。蓋シ旅酬ノ時。ツ主人ノ方ト。賓客ノ方ヨリワカキ

子第一人ツノイデ。爵ヲトリアゲ。各ソノ長者ニ酬ス。長者ソノ爵ヲ以テ。賓

主兩方互ニ相酬メ。末々ニ至ルコ。ニライテ。下輩ノ賤者。上輩ノ長者ノ

タメニ。事ヲ執リ行フ所アリ。ルソ宗廟ノ中ニハ事ヲ執テ。自敬意ヲシ

ルヲ以テ。祭ヘリトス。ヨリテ此礼ヲ以テ。事ニテツカルコトヲ。賤者ニテニ

及ボスコレ幼ヲ幼トスルノ義ナリ。燕毛所以序齒也。燕毛トハ燕ハサカモ

トスルノ義ナリ。燕毛所以序齒也。燕毛トハ燕ハサカモ

ヲ云。旅酬ノ後。賓客ニナチサリテ。主人ノ黨ハカリ。廟ノウレヒソノ寢ニア

ツナリ。昭穆ノ間ニ。爵位ヲワカズ。只毛髮ノ黑白ヲ以テ。老幼ノ座次トシテ

飲啖ス。ヨリテ齒ヲ序ルノ故ト云コレ老ヲ老トスルノ義ナリ。以上ノ五段。武王周公ノ礼ヲ制スル所。情文ヲツフア。アニ子ツクセルコトヲ見ツベシ。

序爵

所以辨貴賤也

序事所以辨賢也

旅酬下爲上所以逮賤也

燕毛所以序齒也

其位行其禮

奏其樂

敬其所尊

愛其所親

事死

如事生

禮

之

節

文

明

也

也

也

也

如事生事亡如事存

人ハジメテヲハル時ヲ死ト云ステニ
葬レル時ニ亡ト云亡ハナキナリ。葬リ

ニ及フ。敢テ先王ヲ死セリトセズ。亡レトセガルノ孝意ナリ。孝

之至也

コレ上七句ヲステテ云。三ナ繼述ノ孝ノ至極ナリト蓋シ孝ノ至ニ
ツクセルヲ以テ至レリト云。人々通スルヲ以テ達ス。云其言ハ

郊社之禮所以事上帝

是ヨリ下ハ又九ノ内祭ノ祭
礼ニ及ヒテ。繼述ノ孝意ヲ

一ス。ヒロクトケルナリ。郊トハ國門ノ外ヲ云。上帝ハ天帝ナリ。冬至ノ日南
郊ニ壇ヲツキ。天子自天帝ヲ祭ラル。礼ナリ。社壇ハ宮中ニアリ。春秋兩度后

土ヲ祭ラル。后土ハ地神ナリ。コ、ニ后
土ヲ祭ハガル。文ヲハフケルナリ。宗廟之禮所以祀乎

其先也。明乎郊社之禮。禘嘗之義。治國

其如示諸掌乎。禘トハ天子五年ニ一度。大相ノ廟ニテ其ヨリテ
出ル所ノ帝ヲ祭リ。太祖ヲ以テ合セ祭ラル

大相ナリ。周ノ先ハ帝嚳ヨリ出ルニヨリテ。帝嚳ヲ禘祭ノ。后稷ヲ以テコレ
ニ配ス。嘗トハ宗廟ノ秋ノ祭ノ名。一時ヲアゲテ。四時ヲカヌルナリ。礼ニ必義
アリ。コ、ニワケタル。文ヲ五ニスルゾ。掌ヲミルトハ見ヤスキコトライヘリ。コレ祭
廟ノ秋嘗ニヨリテ。禘祭ニ及ヒ。禘嘗ニヨリテ。又郊社ニ及フ。此四祭ノ義。禮記
ナルニヨリテ。モト宗廟天地ノ祭礼ナリトイヘ。凡、ヨク此義ニ通スル
人ハ天下國家ヲ治ルコトモ亦其理ニ達スルコト。イトヤスキナリ。

右第十九章

章首ハ上ノ章
二見エタリ。

哀公問政

哀公ハ魯ノ君名ハ。蔣コレ未子。晚年魯ニ方ヘリ。子曰文
リ玉フ時ニ。人君政ヲ行フ道ヲトヘルナリ。

子曰文

武之政布在方策

方ハ木ノイタ。策ハ竹ノフタ。皆イニレ。事ヲ
レルス物ナリ。事スクナケレバ。方ニレリス。事

多クレバ。策ヲアミテコレニレリス。蓋文王武王ノ政。ソノ條目。方策ニレキツラ子
テ。今ニアリトゾ。コ、ニトリワキ文武ノ政ヲ以テ答ヘ玉フハ。九ノ三代ノ政。周

ニ至リテ。大イニソナシハリ。コト
ニ。魯ノ相宗ノ家法ナレバナリ。其人存則其政舉。其人

亡則其政息

息ト公火ノキユルガ如クニ。ホロブルヲ云コレ云
公政ノ法公方策ニシキテ。明ナリトイヘ。凡其行ハル
ト。行ハレサルトハ。コレヲツカサドル君臣ノ人ニカ、ルゴノ故ニ其人アル時公則
其政アゲラコナハル。モシ其人ナクナル時公則其政モタチニキエホロブ
トゾ。蓋シ哀公ノトフ意公法ヲ以テ人ヲタビスニアリヨリテ未チハレ
メヲハリ。只人君一ツ自修メテ。己ヲ正クスルコトヲ主トノ答タニテ。

道敏政地道敏樹

道ト公事物ノ用ノ行ハル、所ヲ以テ云
上ヲウケテ云ク。其人アル時二人ノ作
ニヨリテ。政ノトクヲコナハレヤスキヲ。ナラ地ノ功用ヲ
以テ。草木ヲウフルニ。養生ノスミヤカナルガ如シトナリ。
夫政也者

蒲盧也

蒲ハガ。盧ハア。皆水草ニ。中ニモ生ジヤスキ者ナリコレ
ヲ以テ。人情ヲツクシ。人ヲノホトコレヤスク。成レヤスカラレメ玉フニヨリテ。
其人ダニアレバ。アゲ行ハル。尤スミヤカナルベキナリ。一説ニ。此ニ句公只コレ上
ノ敏樹ト云意ヲウヘモノ一ツヲアゲ
テラタトフ。蓋シノ意ナレト。
故爲政在人

取人
此句ヲ孔子家語ニハ。爲政在得人ト作レリ。然レバ人ト公賢臣
ヲサレテ云カクノ如クナレバ。下ノ句ニトリツキテ。其意尤ナハレリ。

以身

身ト公君ノ身ヲサス。賢臣ヲエラビトル
ニハ。又君身ノ賢徳ヲ以テ。法トスルナリ。
修身以道
修身トハ
徳ヲナスニハ。又ヨク道ヲ行フニアリ。道ハ即下文
ニ由タル。天下ノ達道五倫ノ常經ヲサ、テイヘリ。
修道以仁
仁トハ
物ヲ生ズル心ヲウケム。レテ。各其心ニソナヘタル。本然ノ徳ナリ。五倫ノ常道ハ
三ナ仁徳ノツラヌク所ナル故ニ。道ヲオサムルニハ。又仁ヲ以テス。人君ヨク其仁
ヲ成ス時。公道ヲコナハレ。身オサナリテ。人ヲ取ルニ其法タツコ、ニツイテ其若ア
リ。其臣アリテ。政アゲ行ハレズト云コトナレ。一説ニ。此仁モ。ニ達徳ノ主トスル所
ヲ以テ云。智ハ仁ノ始。ラヒラキ。勇ハ仁ノ終。ヲナス
コトナルニヨリテ。仁一ツヲ以テ。コレヲカ子タリト。

親爲大

人トハ人ノ身ヲサレテ云。蓋シ人天地生物ノ心ヲウケムニシタ
ル故ニ。即其身ニ此生々ノ理ヲソナヘテ。ラノツカラ生ラ好ミ。死
ラ惡ミ。人ヲ愛シ。物ヲ利スル慈愛惻怛ノ意アリ。即コレ仁ナリ。ヨリテ人ノ
字ヲ以テ。其義ヲ釋ス。仁道至リテ廣ケレ。凡各其親族ヲレタ。レムヲ以テ。大

仁者人也親

仁者人トハ
親レトハ
仁トハ

イナレトス蓋レ人ヨク其親ヲシタレム時ハ
慈愛ノ心五倫ニアニ子ク萬物ニ及フ故ナリ
義者宜也尊賢

爲大 義ハ仁ノ對ナリ仁ハ元氣ノ理ナルニヨリテニツラアゲテ云時ハ
義ハ陰ニ屬ス義ハ宜ト云意ナリ事ノ理ヲ處置ノ各ソノ宜キ所アルヲ云
心以テ事ヲ裁制スル所ナリ賢ハ師友ノ賢者ヲサス人ヨク賢ヲタツトヒテ云
ニツキニナア時ハ内ニメ親戚外ニメ君臣九ノ應事接物ノ
宜キ所ニナ次第ニ明ナリヨリテコレヲ以テ其大ナルトス

親親之殺 殺ハソクナリ上ヨリ下ヘ段々ニ
ソククダス分際アルト云等ハ
レナリ即段々ノ次第ヲ云生ルトハ發見スル義ナリ蓋レ礼法ノ條自多シ
トイヘ凡モト親ヲシタレシニ賢ヲタツトフノ間ソノ淺深大小ノコトナルニ
シタカヒテコレヲホトヨクコレヲアヤナス所ヨリ發見ノ推レ行ハルコトナル
ニヨリテ此ニツノ降殺等級ヲ以テ礼ノナル所ト云ナリ此ニ段仁ニヨリテ
義ヲ推レ出レ仁義ニヨリテ又礼ヲ推レ出ストイヘドモ其本意ハ
只身ヲ修ルノ大要仁義礼法ニアルコトヲツマビラカニ示サントナリ

尊賢之等禮之所生也 殺ハソクナリ上ヨリ下ヘ段々ニ
ソククダス分際アルト云等ハ
レナリ即段々ノ次第ヲ云生ルトハ發見スル義ナリ蓋レ礼法ノ條自多シ
トイヘ凡モト親ヲシタレシニ賢ヲタツトフノ間ソノ淺深大小ノコトナルニ
シタカヒテコレヲホトヨクコレヲアヤナス所ヨリ發見ノ推レ行ハルコトナル
ニヨリテ此ニツノ降殺等級ヲ以テ礼ノナル所ト云ナリ此ニ段仁ニヨリテ
義ヲ推レ出レ仁義ニヨリテ又礼ヲ推レ出ストイヘドモ其本意ハ
只身ヲ修ルノ大要仁義礼法ニアルコトヲツマビラカニ示サントナリ

在 此一段ハ一
ノ重出ナルコ
トナリ

下位不獲乎上良不可得而治矣 此一段ハ一
ノ重出ナルコ
トナリ

故君子不可以不修身 是ヨリ下四段ハ上文ノ意
ヲウチ來リ哀公ノ身ノ
用ナシ

思修身不可以不事親 身ヲ修ルニハ道ヲ以シ道
ヲ修ルニハ仁ヲ以テタレハ
親ヲシタレムヨリ大イナルハナレゴノ故ニ人君ソノ身ヲ修メント思ハヨク其
親ニツカヘズメカナハサルコトナリ此親ノ字ハ父母ヲサレテ云親々ノ中ニ就テ至
切ナル者ヲアゲテ

思事親不可以不知人 親ヲシタレム
ノ仁ハ賢ヲタ
其餘ヲカヌルナリ

知人不可以不知天 此ノ字ハ親ト賢トヲカ子テ云天ト
ハ天理ヲサス蓋レ親ヲシタレシニ賢ヲ
ツトフノ義ニヨリテ明ナリコノ故ニ親ニ事ヘニツラ思ハカ子テ又
人ノ賢否ヲワキ知リテ師友ヲエラヒトウズメカナハサルコトナリ

中庸の義

一七

タツトフク等殺ハニテ夫理ノアノ所ナリトノ故ニアラ知テコレヲ處置セニ
ト思ハズカ子テ又天理ヲ明ラヌレラスノガナハサルヲナリ。以上ノ四段其
訓ハ亦次第ニ本ヲ推シ由タスヤウテレド。大意ハ只人君ソノ身ヲ修メトナ
ラバ必仁ニ体レ義ヲ行ヒテ道理ニシタガフベキコトヲ明ニスルニスキス。

天下之達道五所以行之者三

達道ト公達ハ通ナ
リ天下古今人共

ニ由リシタガヒテ通行スル所ノ道達ナリ蓋シ身ヲ修ルニ道ヲ以テス其要
要ハ親ニ事ルニアリトイヘテツツサニ云時公其目五ツアリ。五ツノ目下二見エ
タリ。道ヲ修ルニハ仁ヲ以テス道ハ我人共ニ由ル所トイヘテ德ニ本ツカガレバ
行ハレス而ノ道ヲ行フノ德仁ヲ以テス要トスレテツツサニ云時公其目亦三ツ
アリ。三ツノ目下二見エタリ。○首章ニ和ヲ以テ天下ノ達道ト云公人情ノ通行
スル所ヨリノイヘリ。此五ツノ達道ハ公事ノ通行スル所ナリ。情ハ常ニ事ノ内
ニ在リ情ノ正キハ即
其事ハ和スル所ナリ。

曰君臣也父子也夫婦也昆
弟也朋友之交也五者天下之達道也

達ノ目。堯舜ノ時。契司徒トナリテ。ツカカドル所ノ五教。五典コレナリ。其目ハ
ジメテコトニアラハル。即ニ達道ノ在ル處ナリ。昆ハ兄ナリ。朋友ニ交ノ一字ソヒ
タル。父子兄弟ハ骨肉ノ親ナリ。夫婦ノ配偶。君臣ノ統屬モ亦天然ニ出ツ。只
朋友ニ同志。前門ノ交リニヨリテ。其道立ツガ故ナルベシ。父子ニ各ソノ道ノ各ヲア
ラハレテ云ク。父子親アリ。君臣義アリ。夫婦別アリ。長幼序アリ。朋友信アリ。
ト。其父子ヲハジメトスルハ教ヨリトイヘハナリ。ゴニ君臣ヲハジメトスルハ政
ヨリトイヘ也。ルソ古今ノ政教トスル所。事
行トスル所。此五ツノ外ニ出ルコトナシ。

知仁勇三者天下
之達德也所以行之者一也

智仁勇ノ三徳ハ即五達
道ヲ行フ所ノ三ツノ目
ナリ。コレヲ達徳ト云コトモ。亦天下古今ノ人通メ同ク生シ得テ身ニ具ヘ
タル者ナレバナリ。智ハ此道ヲ知ルノ徳。仁ハ此道ニ体スル。勇ハ此道ヲ強
ルノ徳。中ニモ仁ハコレ道ヲ行フノ主トスル所。智ハ其初メヒラキ。勇ハ其
終ラキハム。モトニ頃ノ事ニアラス。又此三徳ハ人ノ同ク得ル所ナリトイヘテ
本徳コレヲサマタクレハ五ツノ道ヲ行フノ主トスル所。故ニ三徳ヲ頼ミテ道
ヲ行フ所ノ者ツツアリ。コレ誠ヲサレテ云ナリ。誠トハ良ソノ行フノ着實ニシテ

アカラサナニテ。事ニテ。シリヘタツル所ナキ
コトヲ云ニ。然レバ。別ニ。ツノ。誠アルニアラス。 **或生而知之。或**

學而知之。或困而知之。及其知之。一也。

三才達道ヲサレテ云。下同。生レナカラ。テ。知ルトハ。氣質上等ノ人。其理ヲ知
ル。天。生。ノ。一。ニ。テ。人。カ。ラ。エ。夫。ヲ。備。フ。ス。ナリ。學。テ。知ルトハ。氣質中等ノ人。學
問ニヨリテ。ゴレヲ。知ルナリ。困。ニ。テ。知ルトハ。氣質下等ノ人。窮理ノ功ヲツミテ。後
ソノ。フ。サ。カ。レ。ル。所。ハ。ヒ。メ。テ。ヒ。ラ。ク。ル。也。サレ
ド。學。知。モ。困。知。モ。其。功。ナリ。テ。知ル。ヲ。得ル。ニ。及
フ。時。ハ。別。生。知。ノ。知ル。所。ト。ニ。ツ。ナ。カ。ラ。フ。ツ。ナリ。 **或安而行之。或**

利而行之。或勉強而行之。及其成功。一也。

ハ。三。才。ツ。ト。ム。ル。也。ソ。レ。道。ヲ。行フ。ニ。モ。亦。三。等。アリ。上。等。ハ。レ。井。ツ。ト。メ。ス。ノ。安。シ。ゴ。レ
ヲ。行フ。中。等。ハ。小。人。ノ。利。ニ。ワ。レ。ル。カ。如。ク。ム。サ。ホ。リ。テ。コ。レ。ヲ。行フ。下。等。ハ。タ。ヘ。カ。タ。キ
所。ヲ。レ。キ。ツ。ト。メ。テ。コ。レ。ヲ。行フ。サ。レ。ド。利。ト。ス。ル。モ。勉。ル。モ。修。行。ノ。切
成。ル。ニ。及。フ。時。ハ。亦。安。シ。ゴ。レ。行フ。ト。ニ。ツ。ナ。カ。ラ。フ。ツ。ナリ。此。二。段。衰。公。資。質。ノ。ク。ク。也。

キ。故。ニ。未。子。コ。レ。ヲ。以。テ。ヒ。キ。ス。メ。玉。フ。ナリ。モ。レ。コ。レ。ヲ。三。德。ニ。死。ノ。云。時。ハ。云。カ
知。ノ。ヨ。ク。知。ル。所。ノ。者。ハ。智。ナリ。ニ。行。ノ。ヨ。ク。行フ。所。ノ。者。ハ。仁。ナリ。コ。レ。ヲ。知。ル。コ
レ。ヲ。行。ヒ。テ。ヨ。ク。其。功。ヲ。ナ。ス。所。ノ。者。ハ。勇。ナリ。又。知。行。ヲ。合。セ。二。等。ニ。ワ。カ。テ。テ。云
時。ハ。生。知。ノ。人。ハ。必。安。行。ス。コ。レ。智。ノ。類。ナリ。學。知。ノ。人。ハ。必。利。行。ス。コ。レ。仁。ノ。類。ナリ。
困。知。ノ。人。ハ。必。勉。行。ス。コ。レ。勇。ノ。類。ナリ。○。ソ。レ。人。ノ。性。モ。ト。善。ナリ。ト。イ。ヘ。ル。ソ。ノ
氣質。ヒ。ト。シ。カ。ラ。ガ。ル。故。ニ。道。ヲ。知。ル。ハ。ヤ。キ。アリ。ゾ。ソ。キ。アリ。道。ヲ。行フ。コ。ト。難
キ。アリ。易。キ。アリ。サ。レ。ド。ヨ。ク。勉。メ。テ。ヤ。キ。ガ。ル。時。ハ。其。至。ル。所。ニ。至。リ。至。ル。所
ニ。至。ル。ハ。亦。此。道。ノ。至。極。處。同。ク。中。庸。ナ。ル。カ。故。ナリ。然。ル。ニ。愚。不。肖。ノ。人。ハ。生。知
安。行。ヲ。及。バ。ザ。ル。所。ト。メ。コ。レ。ヲ。ハ。ハ。カ。ル。賢。者。ノ。人。ハ。困。知。勉。行。ヲ。益
ナ。キ。コ。ト。ト。メ。コ。レ。ヲ。セ。ズ。是。道。ハ。明。ナ。ラ。ス。行。ハ。レ。ガ。ル。ノ。故。ナリ。 **子曰**

好學近乎知。力行近乎仁。知耻近乎勇。

學。行。文。ナリ。此。段。ハ。未。子。達。道。ヲ。成。ス。ニ。及。バ。ズ。ノ。コ。レ。ヲ。成。ガ。ニ。テ。求。ル。者。ノ
事。ナリ。ソ。レ。學。問。ヲ。ス。キ。好。ム。コ。ト。ハ。イ。マ。ダ。智。ト。成。ラ。サ。レ。ル。亦。ス。テ。二。智。ニ。道
ツ。ケ。リ。篤。實。ニ。テ。カ。メ。行フ。コ。ト。ハ。イ。マ。ダ。仁。ト。ハ。成。ラ。サ。レ。ル。亦。ス。テ。二。仁。ニ。道
ケ。リ。人。ニ。レ。カ。ガ。ル。耻。ヲ。知。テ。プ。リ。ハ。ゲ。ム。コ。ト。ハ。イ。マ。ダ。勇。ト。ハ。成。ラ。サ。レ。ル。亦。ス。テ

二勇ニ近ツケリ。蓋シ哀公ハナハタ昏弱ニシテ知ニ行ノ説ヲ聞クトイヘ凡
ナク退縮ノハカレシル意アル故ニ未字又此三述ヲ告テミツカラ其體ヲイ
カニトカヘリニス。只ス、ニテツトメラルベキヲ示サルナリ。又上ニ段ニ合
セテ。三德ニ比ス時ハニ知ハ智。三行ハ仁ナリ。學知困知。利行勉行ヨリ切ヲ成シ
テ。生知安行ト一ツニナル公勇ノ至リニテ。此ニ近公ナラ其成功ヲ求ル者ノ
ナレバ。勇ノ次ナリ。○臣氏オモヘラク。愚者ハ其知ル所ヲニツカラ是ナリトスヨ
リテ學コノシテ。知ヲ明ニスル。公此愚ヲヒラクニ足レリ。自其身ヲ私ニスル
者ハ人欲ニナガレテ。返ルヲ忘ルヨリテカメ行ヒテ。レリソカガル。公此私ヲ
克チノゾクニタレリ。懦クツタナキ者ハ人ノ下ニ居ルヲ其ニスヨリテ耻ヲ知
リテフリタツ。ハ此懦ヲオコスニタレリ。公ノ故ニニノ者ヲ以テ。智仁勇ニ近ツ
ケリ。知斯ニ者則知所以修身。斯三者ト公上ノニ近ツ
トス。知斯ニ者則知所以修身。カレテ云コレヲ知ルト云
其ヨク徳ヲ成スベキヲ知テコレヲツトムル。ト云コレヲ知ルニヨリテヨ
ク徳ニス。ニ徳ヲ以テヨク道ヲ行フ故ニ則其身ヲ修ルスヘヲ知ルナリ。知
所以修身則知所以治人。達道達徳ハ人々同キ所ナリ
故ニ身ヲ修ルスベヲ知ル時

ハ則亦人ヲ知ルスベヲ知ル。知所以治人則知所以治天下國

家矣。人ト公我ニ對ノ云詞。天下國家ト公人ヲ盡シテ云詞ナリ。其理一

ツニテ。多ク遠近ノコトナルノミナレバ。必ズ以テ推レヒロメラルベ
キゾ。コレ即大學ノ身ヲ修メ家ヲ齊ヘ國ヲ治メ天下ヲ平ニスルノ道也。コレ
ニテ人君マツ其身ヲ修ムベキノ意ヲ。段々ニトキツクシ。此ニ段ヲ以テ。上ニ
終ヒトメテ。又コレヲ以テ。下文ノ天下

凡爲天下國家有九經曰修身也尊賢也親親也敬大臣也
體羣臣也子庶民也來百工也柔遠人也

懷諸侯也。凡其身ヲ修ムト公人君ソノ身ヲオサメルナリ。其
ヲ尊フト公師傳タル人ヲタツトヒテ。其教ヲウケラル。ナリ。親シタレム
ト公宗族ノ恩愛ヲ深クスルナリ。大臣ヲ敬スト公宰相タル人ヲウヤマヒテ

ナレカロシメガルヲ云。羣臣トハ百官ヲ云。コレニ体ストハ其身トハ一休ニナリ
テ。精意ノヘダ、ラガルヤウニスルゾ。庶民ハ農ヲ主トシテ、工ヲ子トスト
ハ、父母ノ子ヲ愛スルガ如クニ、コレヲソコナシテ、ソノ百工トシテ、
ノ工匠ヲサスコレヲ來ストハ、處置ヲヨクシテ、ミナ來アツルヤウニスルゾ。
遠人ヲ柔ニスストハ、四方ノ賓客商賈ノ入ニ心ヲカケテ、タヨリヨキヤウニスル
ゾ。諸侯ヲ懷トハ、諸國ノ君ニ恩徳ヲ厚クメチツキシタガハレムルナリ。スベテ
コレ王者仁愛ノ徳、ヒロクオホヒ、ツフサニカナヒテ、天下ニ一休ノ氣象ナリ。○ソ
レ天下國家ノ本ハ、君ノ一身ニアリ。コノ故ニ、以上ノ段々、ミナ君ノ身ヲ修ル
タメノ教ナリ。此九經モ、亦ミツ身ヲ修ルヲ、最初ノコト、メソレヨリ、次第ニ推
シ、ニロメトケルナリ。カレド人君必師ニチカツキ、友ヲトリテ、後身ヲ修ルノ道
ス、ハ、コノ故ニ、賢ヲ尊フコレニ次ク、徳化ヲホトコスル、家人ヨリサキ、トルハナ
シ。コノ故ニ、親ヲシタレムコレニ次ク、家内ニヨリテ、朝廷ニ及ブ。コノ故ニ、大臣ヲ敬
シ、羣臣ニ体スルコレニ次ク、朝廷ニヨリテ、國中ニ及ブ。コノ故ニ、庶民ヲ子トシ、
百工ヲ來スコレニ次ク、國中ニヨリテ、天下ニ及ブ。コノ故ニ、遠人ヲ柔シ、諸侯ヲ
懷クコレニ次ク。是

修身則道立

此ヨリ九經ヲ行ヒテノ、效ヲアケ
テトケリ、道立ツトハ、道ハ即達道

ナリ。道ノ法式、君ノ身ニ立
テ。民ノ視テ、ラヒトナルゾ。**尊賢則不惑**。賢者ノ教化ニヨリテ、義
ニミトハシ、アガ
ムカレザルナリ。**親親則諸父昆弟不怨**。諸父昆弟トハ、伯
スベテ云。怨ニストハ、
各ソノ願ヲトクルゾ。**敬大臣則不眩**。大臣ニ政務ヲ任スル故ニ、外
テ正クシテ、ヨヒ
ウタガハヌナリ。**體群臣則士之報禮重**。士ハ、即群臣也。
ニムクフル、オモクメ、手足
ノ心腹ヲ、モルガ如クナリ。**子庶民則百姓勸**。耕作ヲツトメ、
又ナ
リ。**來百工則財用足**。財用トハ、錢貨、絲帛、器械、凡ソ百工ノ
トハ、上下ノ用タリ。**柔遠人則四方歸之**。四方ノ人ヨリトコ
テ、事カケヌナリ。**懷諸侯則天下畏之**。君恩ノホドコス所、ヒロキニヨリ

クナ
リ。**懷諸侯則天下畏之**。君恩ノホドコス所、ヒロキニヨリ
テ、威勢ノカ、ヤク所トラキナリ。

齋明盛服非禮不動所以修身也

此ヨリ以下公九經ヲ行フノ

事ナリステニ其目ヲアグレバ事ハラノツカラ其内ニアリ然ルニ家語ヲ考レ公哀公又九經ヲ行フ。イカバハスルト問ヘルニヨリテ夫子其事ヲアケテツフガニ答ヘ玉ヘリ。齋明盛服ノ義上ニ見エタリコレハ人君平常ノ恭敬意ヲ致シ祭祀ニツカフニツルガ如クナルヲ云身ヲ修ルノヨリ切ナルハナシ

去讒遠色賤貨而貴德所以勸賢也

讒ト公讒言ナル小

大ヲ云色色欲貨公財利ナリ徳トハ小人ニアラスノ君子欲ニアラスノ理利ニアラスノ義スベテニナ徳ナリ彼ヲサケステイヤレニスレハ必此ヲ貴ヒオモニス君カクノ如クナレバ賢者則其志ヲ得テ其徳ヲアラハスコレ賢者ヲ勸ル所ナリ 尊其位重其祿同

其好惡所以勸親親也

君ソノ親族ヲ親愛スルヲ厚キニヨリテ親族モ亦君ヲ親愛スルヲ深

レコレ互ニ親クマ

官盛任使所以勸大臣也

大臣ニハ政ヲユタ

スルニヨリテ細事ヲミツカラトラレメズ其下官ヲ多ク盛ニメツカハレメヲ任スルニタラレハコレ大臣ヲユタカニシ其ヲキテラ心ニカセスレムルノコト 忠信重祿所以勸士也

忠信ハ實心ナリ下位ニ居ル者ハ情意ハタリテ上ニ通ズル

カタレコノ故ニ君身ヲ以テコレニ依メソノ上ニノゾム所ヲミソチハレ實心ヲ以テコレヲ待メ疑ヒ畏ルノナカラレシメ俸祿ヲオモクメ内ニ不起ノウレヘナカラレムヨリテ士 時使薄斂所以勸百姓也

時ニ使フ

ノ奉公スハムナリ 日省月試

日コトニ其ツトメシコカリヲミソチハレ月コトニ其ヨレアレ

既稟稱事所以勸百工也

既ハ餼ト同レ餘稟トハ月別ノ給米ナリ百工ノツカサレ

日コトニ其ツトメシコカリヲミソチハレ月コトニ其ヨレアレ 送往迎

ラクリユクヲムカヘ

來嘉善而矜不能所以柔遠人也

買客商賚ノカヘリテユクラ

窮^{キマラ}。道トハ上ニツノ者行ナハル、所ヲスヘテ云窮ラストハアマ子ク應^{ケル}ジテツククルナキヲ云。蓋シ道キハ一ラガルニ至ル時ハ言々ニナトラ^ルリ。事々ニナナヲク行々ニナ^ル明ニテ可ナラスト云所ナシ。在下位不獲乎上民不可

得而治矣。此ヨリ以下又下位ニアル者ノ上ヨリ限々本ヲ推シキハ^{メテ}前ニ定ル實ナケレハ其事一ツモナラサルノ意ヲト

ケリ。コレ云意ハ下位ニ居ル者信任ヲ君ニエサレハ民ヲ治ルノ思フマ、ニスル^{コト}ヲ得スト。蓋シ君ニ信任セラレサル者ハ臣タル名ハカリニテ其實々ス^{ヨリ}テ其職行ハレガタキナ^リ。下ノ句義ニナコレニ同ジ。獲乎上有道不信乎朋友

不獲乎上矣。道トハ由ル所ナリ下同。大臣ノ性行ソノ朋友ノ信^シフスル實アルニ由ラザレバ君ノ信任ヲエス。蓋シ人君

ノ臣下ニラケル朋友ノ信乎ヲ見サ^{レハ}其人ノ善知リカタケレハナリ。信乎朋友有道不順乎

親不信乎朋友矣。順フトハ心ナヒキアヒテソムカサル義也。朋友モ外ノ人ナルニヨリテ其人一家ニ居テ

親族ト和順ナルヲ見ザレバ其^{善ノ實}信レガタケレバナリ。順乎親有道及諸身不

誠不順乎親矣。親族ハ予ケクレ同居スル者ナルニヨリテ死シモ^外ヲトリツクワ所アレバツ子と和順ナルヲ

得ガタシ。只ニツカラワカ身ニカヘリニテ凡ソ心ノ存スル所發スル所誠^ニ三ナ真實ニスアカラサマナル所ナキ實アル者ノニヨクコレヲ得ベキナリ。

身有道不明乎善不誠乎身矣。其身ヲ誠ニセント^{思ハ}ハツ徳性ノ善

ナル所ヲツヒラカニシ。實ニ事理ノ至善ナル所ヲ知ルニアラザレバアタハズ^{然レドモ}明善ハコレ誠身ノ端ヲヒラク道ナルヲ以テコ、ニ其前ニ定ルノ意

ニトルバカリナリ。明善ヲ以テ誠身ノ實ヲ得ル所ナリトスルニハアラス。以^上ノ五段民ヲ治ルノノヨリ。ツレキハメテ身ヲ誠ニシ善ニ明ナルニ至ル。コレ未

子哀公ニ告ゲラル、大意ナリ。サレハ君ニ對メノ玉フニヨリテ下位ニ居ル者^ヲ以テトキオコシ玉ヘリ。又身ヲ修ルノ太要ソノ心ノ主トスル所誠ヲ立ル

ニアリ。ソノ事ノ先トスル所親ニ事ルニアリ。内外ノワカチナリ。サレドコ、ニ^ハ其効ノツイテヲ以テ云ニヨリテ。ツ身ニ誠アリテ後親ニ順フベトイ

誠者天之道也

ヘル。誠者天之道也。コレ上ニ文身ヲ誠ニスト云ラウケテイヘリ。誠トハ眞實ニシテ安ナルコトナキ義ナリ。未
理ノ眞實。幻妄ナキヲ云アリ。心理ノ眞實ニシテ欺妄ナキヲ云アリ。ゴ、ニハ眞實
ヲ以テ。實理ヲカ子テトケリ。云意ハソレ人ノ徳。眞實無妄ナル者ハ即天然
ニナル道理ニシテ人爲ラ借リ
テナレルニハアラズトナリ。

誠之者人之道也

タル公上ノ誠ノ字ヲ。ツサアル義ニトシテメナリ。コレイマダ眞實無妄ナル
コトアタハス。眞實無妄ナラシト求ル者ノ人ノ道ナリトハ人タラニ者ノ
カクノ如クセテ。カ
ナハサル道理ナリ。

而中道聖人也

コレカサ子テ誠ナル者ノコトヲトク。從容トハユル
ヤカナル見ナリ。云意ハ誠ナルトハ其行フ所ツ
トメズ。ラノツカラ道理ニアタリ。其知ル所思ハス。ラノツカラ道理ヲ從
容閑暇ニメ。自然ニ道ニイタル。カクノ如クナル聖人ノコトナリトツ。從容ハ即勉メ
ス思ハサル意。道ニアタル公。即理ニ中
リ。理ヲ得ルナリ。此ハコレ天道ナリ。

誠之者擇善而固執

之者也

コレカサ子テ誠之者ノコトヲトク。ソレイマダ聖人ニ至ラザル者ハ
人欲ノ私アルコトヲ免レズ。其徳イマダ眞實無妄ナルコトヲ得
ズ。コノ故ニイマダ思ハス。得ルコトアタハサレバ。ナラ人欲ヲトメテ。天理トスルコト
アリ。ヨリテ必善ヲエラ。ブコトハレク。後ニ以テヨク善ヲ明ニスベシ。イマダ勉
メズレテ中ルコトアタハサレバ。ナラ人欲ニウバル。コトアリ。ヨリテ必コレヲ守ル
コト固ク。後ニ以テヨク身ヲ誠ニスベキナリ。此ハコレ人道ナリ。蓋シ思ハス。ノ
得ルハ生知ナリ。勉メズ。中ル公。安行ナリ。善ヲ擇フ。公。學。知。困。知。ノ。コト。固ク
執ル。公。利。行。勉。行。ノ。コトナリ。夫子哀公ヲミチヒキ。エフ。公。善ヲ擇テ。固ク執ル。公
道ニ重シ。天道聖人。公。其。至。
極ノ法則ヲ示シ玉フナリ。

博學之審問之慎思之明

辨之篤行之

此段ハ誠之者ノ工夫ヲ用ルノ目ナリ。凡ソ學フコトハ
セント求ルノコトナリ。之ノ字ハ。淺クソノ學フ所ノ事ヲサスモ。上ニ云ラウケテ
云時ハ。即ソノ擇フ所ノ善ナリ。下皆コレニ倣ヒテ見ルベシ。ソレ學ブ所ハ博ク。ノ
事物ノ道理ヲ。カ子ソナフヘシ。ヨリテ其中ヨリ。問ヒキクベキ所アリ。問フコトハ
又コレヲ審ニシ。師友ノ情ヲキ。ツクスベシ。ステニ問ヒ得タルコト。又コレヲ

ミツカラ思ヒミルヘシ慎ムトハラロソカナラスアナクラガルヲ云ハテ思ヒ
ノ熟スル時公其是非邪正ノ間ヲ分明ニ辨ヘテ毫末ノ疑ナカラシムヘシ學問
思辨ノ知り得タル時公則コレヲ行ヒ出スベシ篤クト公志ヲ專ニシメツトメテ
ヤニガルヲ云ナリ學問思辨ハ善ヲ擇ブノノニメ智ニ屬ス其等ハ學ニテ知
ルノ工夫ナリ篤ク行ハ固ク執ルノノニメ仁ニ屬ス其等ハ利トノ行フノ工
夫ナリ程子ノ云ク五ツノ者其「ツラ廢ルモ學ニアラスト蓋シ高明ナル者ハ
五ツノ等ヲコエヤス」卑下ナル者公五ツノ「有弗學學之弗能
目ヲカク」アリ皆コレ學ラスル道ニアラス
有弗學學之弗能
弗措也 君子ノ學ラスルヲ必ソノ功ヲ成サニク欲スゴノ故ニ學ビス
知ル所ナケレババラクモステラカ
又ナリ下ノ句義ミナコレニ倣フベシ
有弗問問之弗知弗
措也 知トハヨク問フ所
得ルトハ思ヒ得テ
有弗辨辨之弗明弗措也 有弗
ワカ物トナルヲ云

行行之弗篤弗措也

學フコト博クメナラ能クセガル者アリ問フニ審ニメナラ知ラガル者アリ

思フコト慎ミテナラ得サル者アリコノ故ニ能知得ノ三字ニカヘテトク辨フ
ルコトステニ明カニ行フラステニ篤ケレハ更ニ向上ノノナシヨリテ其字ヲ
カヘヌ
人一能之己百之
人十能之己千之
ヨ
ナリ
リモ我ソノ工夫ヲ百倍ニツトム節コレ上ノ能レ得サレバ措カガルノ意
ナリ其功必成ルコトヲ期スルハコト其等ハ困ニテ知リ勉テ行フ
工夫
果能此道矣雖愚必明雖柔必強
果ノトハ
ナリ
レテスル義ナリ此道トハ百倍ノ功ヲウケテ云果然トメヨク此道ラレオホ
スレハ惠昧ナリトイヘ凡必明敏ナリ柔弱ナリトイヘ凡必剛強ナリ明カナル
公善ヲ擇ブノレシ強キハ固ク執ルノレシレナリ蓋シ天氣質ヲ以テ人ヲカ
ギルトイヘ凡ハ萬物ノ靈ナル故ニ氣質ヲ變化スルコトハ人カノ必トスル所
ナリ其要々ハ百倍ノ功ヲ用ルノミニナリ以上ノ五段夫子哀公ノタメニ喫緊ノ
ツケサトシ玉フ所ナリサレトモ博學之ト云ヨリ以下ノ文家語コレナキヲ

以テ或ハコシテ思ノ補ヘル所ナル歟トモイヘリ。○呂氏オモヘラクゾレ君子ノ
學ラスル。何ノタメゾトナレバ良ソノ氣質ヲ變化セシガタメナル。蓋シ
ヒトレク善ニモ。惡ナキ者ハ。人性ノ同キ所ナリ。昏明強弱コトナル。アアルハ
皆氣質ノレカラレムル所ナリ。誠之ニスルコトハ。其同キニカヘリテ。其異ナル
ヲ変スルノ道ナリ。人モシ不美ノ氣質ヲ以テ。變ゾ美ナラント求ル。其切
ヲ百倍スルニアラガレバ。コレヲ致スニタラズ。今アカラサニニテクハレカラ
ハル學業ヲ以テ。アル時ハナシアル時ハヤミカクノ如クニ。其不美ノ質ヲ變
セシヲ求ム。變スルヲアタハガルニ及デ。公則天質ノ不美ナルハ。學カノヨク變
スル所ニアラズト云。コレ自ソノ徳性ヲ棄テ。愚
不肖ノ境ニオチイル。フ果ス。其不仁ナルヲ甚シ。

右第二十章

此章夫子政ヲ論スル。尤詳ナリトス。子思コ
傳フル所ノ道一致ニ。夫子モレ政ヲセニ時ハヤゲテラキ玉ハニ。亦カ
クノ如クナルノミナラシト。云意ヲ示セルナリ。論語ニ夫子子張政ヲ問
ニ答ヘ玉ヘル語ヲ以テ。歷代帝王ノ治道ニツキ。孟子ニ夫子ノ春秋ヲ修メ
玉ヘルヲ以テ。堯舜禹周ノ統ヲツケトイヘルモ皆同レ意ナリ。又此章

ノ太小ヲカチトク。コレ皆費ノ兼ル所ニ。隱ノ理即ソノ内ニアリ。コレヲ
以テ。第十三章ノ費隱ノ意ヲトキ。終ヘタリ。而ノ章内ニ誠ヲトク。ハシ
メテ詳ナリ。誠ハ實ニ。此篇ノ樞紐ナリ。ヨリテ
此ヨリ以後。其意ヲニス。ク詳ニトケルナリ。

自誠明謂之性

其徳ニコトナラガレ所ナキニヨリテ。其智モテ
ヲ聖人ノ徳。天性ノ。ニテ。自然ニカ
クノ如クナル者ト云。コレ天道ナリ。

自明誠謂之教

明ニスル
ニヨリテ。其善ヲ實ニ。以テ身ヲ誠ニスルニ至ルニハ。
コレヲ賢人ノ學。教ニヨリテ得ル者ト云。コレ人道也。

明則誠矣

賢人明善ノ功モ。ツイニハ亦
モ亦明ナラズト云コトナレ。聖人ノ誠ニ至ルヘキナリ。蓋
レ上章ステニ誠明ノ二字ヲトキ出セル。コ。ニハ只ソレニツキテ。性ノ。ミナル
ト。教ニヨルトヲワケツケテ。人必教ニヨリテ學ヲツトメ。其本性ニカヘルヘキ
コトヲ示
セルナリ。

右第二十一章。子思承上章夫子之道。人道之意而立言也。且此以下十二章皆子思之言。以反覆推明此章之意。

ス義ナリ。○凡ソ此書サキ一半ニハ中ヲトク。後一半ニハ誠ヲトク。中ハ以テ道ノ体ニカクトリ。誠ハ以テ道ノ實ヲサセリ。

唯天下至誠

コレ聖人ノ徳誠實ノ至極ニシテ天下ニ又其比ニカフベキナキヲ云。畢竟天下至誠ノ四字ハ聖人ノ尊ヲ

為能盡其性

此ヨリ下。至誠ノ能スル所ヲ推レキハメ云。其次第アルニアラス。其性ヲ盡ストハ徳實ナラス

ト云コトナキニヨリテ。少モ人欲ノ私ナク。天性ノ我ニ具ハレル者。コレヲツミヒラカニシレ。コレニシテカヒテ。事物ニシレハル。大小精粗ノ理。ミナ毫髪ノ盡サスト云コトナキ云。能盡其性。則能盡人之性。能盡人之性。能盡人之性。

性則能盡物之性

人物ノ性モ亦ワカ性ト一理ニシテ。只ソノウクル所ノ形氣同ジカラザルガ故ニ。彼此ノ

能盡物之性。則可以贊天地之化育。

可以贊天地之化育。則可以與天地參矣。

化育ハ造化ト同じ義ナリ。物ノ終始ヲ云。又化生長育ノ義ニモ取ルナリ。ソレヨク物ノ性ヲ盡スニ至ル時ハ。則ヨク天地ノ化育ヲタスケテ。天地トナラビ立テ。ニツトナルナリ。蓋シ天地人物ヲ生スルニ。各ソノ性ヲ賦與ストイヘドモ。ソレヲ各ソノ性ヲ盡サシムルニアタハス。コノ故ニ。聖人天命ヲウケテ。三代リ極ヲタテ。ヨク人物ノ性ヲツクス。即コレ化育ノ及ハサル所ヲタスクル也。然ラザレバ。天地ノ功用トゲサル所アリ。人ノ功カクノ如クナルニヨリテ。其体甚スコレキナリトイヘドモ。天地ト並立テニツトナリ。馬ノ足ノ如クニシ。其二ツラカクヘカラス。コノヲ以テ。又天地人ヲ稱ノミオト云。各ソノオラ以テ。共

二相成ス力故ナリ。首章ノ中和ヲ致シテ。天地位シ萬物育ハルト云モ亦此事ナリ。

右第二十二章

此章天道ヲイヘリ。此ヨリ下モ天道ヲ云章ハ三ナ自然ニノ。履々ノ次第ナシ人道ヲ云章ハ三ナ工夫ノ節次アリ。

其次致曲

其次トハ上章ヲウケテ至誠ノ少キ大賢ヨリ以下凡ソ誠ノイニタ至ラザル者ヲ通メイヘルナリ。曲トハ偏ノ

義其徳性ノ善端。眞實無妄ナル所。ヒトカタニ發見スルヲ云コレヲ致ストハ此發見ノ端ゴトニ即コレヲ推シヒロメテコレヲ明ニレコレニシタガヒ各ソノ至極處ニキハメ至ルヲ云。曲能有誠。曲ヲ致メ誠之ノ

曲能有誠

切ツモル時ハ則亦

誠則形

ルハレキ色容貌ニアラハル

形則著

ル者日々

ニアラタニ月々ニ盛ニメス。著則明。著キニヨリテ明ナルハ其精光テ

著則明

リカヤキテ物ニ加ハリ及ブ也

此三句ハ己ニアル徳容。次第ニ盛ナルコトヲ云。

明則動

誠ノ光輝物ニ及ブ時ハ則ヨク感通レテ物コレガタメニ動キイヅ。

動

則變

ル時ハ其惡變ノ善トナルナリ。

變則化

化トハ變ゾゴトククテ

化ラウクル者ソノ何ニヨリテカクナレルト云フヲ知ラズ。此三句ハ物ニ及ブノ徳化。次第ニ深キヲイヘリ。

唯天下至誠

爲能化

一致スノ切ツモリテ後ハ亦聖人ノ妙用トコトナラヌナリ。

右第二十三章

此章人道ヲイヘリ。

至誠之道可以前知

道トハ妙用ヲ以テ云。至誠ノ人ヨク人

リ前ニソノ幾ヲ見テ禍福等ノ來ラシトスルヲ知ラル。ナリ蓋シ其心キハメテ虛明ナルカ故ナリ。

國家將興必

有禎祥

此ヨリ下前知ノ實ヲノベトク。禎祥トハ福ノキザレヲ云。必

福ノ前ホロシ表アリ。國家將亡必有妖孽エウゲツ。妖孽トハ禍ノキサレアラハレ見

平著龜動乎四體アイニ。著ハメトクサ。茲ノウラナヒニ用フ。龜ハカ

人ノ威儀動作ヲ云著龜ニアラハル、所吉凶アリ。四体ニウコク所得失アリ。

此ニツハ必レモ國家ノ興亡ノニナラス。其他ノ禍福モコレニヨリテ。其幾アラ

ハル、コトアリ。禍福將至善必先知之不善必先知

之ヲ。此禍福ハ上ヲウクトイヘ。其サス所ヒロシ。善不善公即禍福ヲ以テ卒

ヨキヲモ必レツコレヲ知ルコレヲ知ル時ハイヨク善ヲ修メ子キ致スノ道アリ。其アレキヲモ必レツコレヲ知ルコレヲ知ル時ハ則ラソレツ、レニ後ヒノツクノ

カア。故至誠如神至誠ノ人事ノキサレヲ必レツ知ルヲ鬼神ノ奉來ヲ知ルカ如シ。下説ニ只神明ノ如シト云。此義

右第二十四章。此章天道ライヘリ。

誠者自成也而道自道也此誠公實理ヲ以テ云。物ノミツカラ物ト成リ立ツ。此實

理アルヲ以テナリ。コレ人物ヲカ子トクトイヘ。其意ハ心ニ具ハル實理ヲ主

トメイヘリ。而ノ道ハ此理ノ流行スル者ナレバ。則亦人ノ自ラコナハズノカナハ

ガル所ナリ。道クトハ即行フ義ナリ。ニツノ自ノ字。其意相ウケテツラヌケリ。

蓋レ誠ハ心ヲ主トノ云。道ノ本領ニメ。体用ヲカヌ。道ハ只ソノ發用處ニツキテ

云ナリ。下説ニ此ノ二句ヲ共ニタバ。誠者物之終始不誠無

物。コレ上文ノ誠者自成也ト云義ヲノベトク。コレ上ノ自成ヲ人ハカリ

ナリ。物ノ終始トハ前章ニ物ニ体ノ遺スヘガラズト云意ノ如シ。凡ソ天下

ノ物ソノ始ヲナシ。終ヲナスハ三十實理ノスル所ナリ。必此理ヲ得テ。然レ

後ニ此物アリ。此理ノスル所ナラサレバ。初ヨリノ此物アルヲナレコノ故ニ人

キガ如クナリ。是故君子誠之爲貴。上ラウケテ云コノ故ニ君子ハ誠ヲ以テ貴キコトノ必

コレニ体レテ須臾モ道ニハナレズト蓋レ人心ニコトナラズト云コトナキ時ハ則以テ自成ルノアル故ニソノ道ノ我ニアル者モ亦ホトコシ行ハレズト云フ。誠者非自成己而已也所以成物也。此誠

ハ公々人々ノ實理ヲ以テ云物ノ字ハ人物ヲカヌツレ誠ハ自成ル所ナリトイヘドモズテニ自成レル時ハ其徳ヲノツカラ物ニ及ヒテ道モ亦彼ニ行ハルコノ故ニ誠ハミツカラバ成スノニナラズメ又ヨク物ヲ成ス所ナリ。己ヲ成スハ其性ヲ盡スナリ。物ヲ成スハ人物ノ性ヲ盡ス也。成己

仁也成物知也性之徳也合外内之道也。誠ハ不性本然ノ徳ナリワカチテ云時ハ其ヨク巴ヲ成スハ仁ナリ内ニ存スルノ体ナリ其ヨク物ヲナスハ智ナリ外ニ發スルノ用ナリ皆ワカ性ノモトヨクアル所ノ徳ニメ巴ト物ト内

外ヲ合セテ渾一ナルノ道理ナリ。故時措之宜也。措クトハホトコレ行フ

義ナリソレヨク巴ヲ成ス者ハ亦ヨク物ヲ成ス故ニ凡ソ行フ所ノ事ニアラハル者ソノ宜キ所ヲ得ズト云フナレコレ即君子ニノ時ニ中スト云者ナリ

右第二十五章。此章人道ヲイヘリ前ノ三章ニ誠ノ切用ヲ云ニヨリテ此章ハミツ誠ノ本体ヲイヒテ而ノ後ニ又其切用ヲ云ナリ

故至誠無息。上章ハ誠ノ理ヲ主トメトク此章ハ至誠ノ人ノ身ニツキテ其切用ヲトクヨリテ故ノ字ヲ以テコレヲウケタリソレ至誠ノ徳ハキハメテ眞實ニメ少レモイツハリニセタル所ナキラ以テヲノツカラヤニスレバラクノタエニナレ

不息。其徳ヤミガル時ハ則ソノ内ニ存スル所又レケレハ則外ニ徴アル者モ

則久。其徳ヤミガル時ハ則ソノ内ニ存スル所又レケレハ則外ニ徴アル者モ

及ブ所ニヲノツカラ。見ツベキレルレアリ。徴則悠遠。悠遠ハハルカニトヲキナリ内ニ存

示又クノ悠遠ナリ。萬世永。悠遠則博厚。其及ブ一悠遠ナル時ハ其ツモル一博クアエテク

レテ深ク厚シ。聲教四海ニイタリ。博厚則高明。ル時又ソノヒ
胎ニイリ體ニトラルノ類コレナリ。ラケオコルヲ。高太ニノ光明ナリ。魏乎タル成。煥乎タル文。章コレナリ。此三句ハ皆ソノ外ニ微アルコトノ盛ナルヲ云。博厚所

以載物也。此ヨリ下三句ハ聖人ノ切用。天地ノ造化ト同キヲ明ス。云意ハ至誠ノ博厚ハ即地ノ萬物ヲ生メ載セスト云コト

ナキ所ノ高明所以覆物也。コレ天ニ同ジキヲイハレキ。悠久所

以成物也。博厚高明ノ徳ゾノ本内ニツムコト。スレテ常久ニノ外ニ

乃ヨク物ヲ成レタツル所ノ道ナリ。博厚配地高明配

天悠久無疆。配ストハ其徳ヲ合スル義ナリ。ソレ至誠ノ博厚ハ

ノ高明ハ即天ノ物ヲ覆フノ道ナレバ其徳天ニ配セリ。博厚高明ノ悠久ニ

ヤムコトナキハ即天地覆載ノ道。長久ニノ疆ナキ所ナリ。此ハコレ聖人天也ト

体ヲ同クスルコトヲ云。蓋シ高厚悠久ハモト至誠ノ切用ナリトイヘ。凡

成ノ天地ノ用タルニ比レノ云時ハ高厚悠久又天地ト徳ヲ合スル處ニ其体也

如是者不見而章。ルコトヲ贊美ス。上ノ段ヲウケテ云カクノ

如クナル者ハ外ヲカガリテ見セザレドモソノ徳化自然ニ物ニ及ブノ迹アラハ

ニノ見ツベレト。蓋シ地ノ成功ハ其迹アルニヨリテコレヲ以テ其徳地ニ配スル

コトヲ不動而變スルニヨリテコレヲ以テ其徳天ニ配スルヲ云ヘリ

無爲而成。為ルコトナレトハ即見サズ動カサルノ意成ルトハ徳化

無爲ノ化ヲ成スニヨリテコレヲ以テ。天地之道可一言而

盡也。此ヨリ下却テ天地ノ道ヲ以テ聖人至誠ニノヤムコトナキ切用

ニソノイヒツクサルコトアリト。蓋シ其爲物不貳則其生

レ誠ト云テ言ヲサレテイヘルナリ。其爲物不貳則其生

物不測。其為物トハ天地ノ天地タルト云義ナリ不貳トハ純ニシ
スモノ物ヲ生ズルノ多キヲ其然ル
故イカニトハカリレラレヌナリ。天地之道博也厚也。

高也明也悠也久也。コレ至誠ノ徳ヲ以テ天地ノ道ヲ詳ニ
トク。蓋シ聖人モトヨリ天地ト徳ヲ合

セタルニヨリテ。前ニハ天地ノ道ヲ以テ。聖人ノ徳ヲ擬シレコトハ聖人ノ徳ヲ以
テ。天地ノ道ヲ語ルゾノ差別ナキカ如クナルコトヲ嫌ハズ。地ノ道ノ博キハ

ソノ造化ヲ變ニシテ端ヲ以テキハムベカラサルヲ云ゾノ厚キハ根本ヲカクメ
ハソヨウ
發用キハ一リナキヲ云。天ノ道高キハ其氣外降シテサハリトハコホルナキ

ヲ云ソノ明ナルハ其光テリトアリテクモニヨリモナキコトヲ云悠キ等ハ天
長ク地久クメ其道萬古ヤムコトナキヲ云。蓋シ天地ノ道誠ニニ貳ナラスコノ

故ニ天ハ高クノ又明カニ地ハ博クノ又厚ク。天地悠遠ニシテ又常久也。今夫
ソノ盛ナルヲラキハムヨリテ下文ニ云所ノ物ヲ生ズルノ用アル也。今夫

天斯昭昭之多及其無窮也日月星辰繫

焉萬物覆焉。斯トハ一處ヲサレテ云昭々ハ少キ明ナル義ナリ。辰
ハ女枵星紀等ノ星ヲ云コレ云意ハ今ソレ天ヲ云

時ハコノ昭々ノ多キ者ナリ。然レ辰ノ全體ノキハ一リナキニ及テハ日月
星辰モコレニカレリ。而ノ萬物ノ生々皆コレニ覆ハルトサレ辰天ノ體ナラ

フニテ以テ大ヲナス者ニアラズ。只ソノ道貳ナラスヤザルニヨリテ。今
盛ナルコトヲ致シヨク物ヲ生ズルノ意ヲ明セルナリ。下ノ段々皆同也。

夫地一撮土之多及其廣厚載華嶽而不
重振河海而不洩萬物載焉。撮トハ一ヒトノミドリ

西岳大華山河ハ黃河ナリコレ地
中ノ最大イナル者ヲアケテ云。今夫山一卷石之多及

其廣大艸木生之禽獸居之寶藏興焉。一卷
ヒト一テナリ。少ノ處ヲ云寶藏トハ重寶ノ載メタ

クハフル物金玉ノ類ヲ云興ルトハ發出スル義ナリ。今夫水一勺

今夫水一勺

下

萬物ノ中ニ人ヲモカチタリテ天道ヲ以テ聖道ヲトク此事聖人ニアリ
テハ人ノ愚蒙ヲヒラキニチヒキ物ノ發生ヲタスケノ公ニ發シタルヲ
バ教育成就シ人物ヲ各其所ヲ得セシムルヲ云即コレ成成輯相ノ道
上章ノ高明物ヲ覆ヒ博厚物ヲ載セ悠久物ヲ成スノ功用ナリ峻キヲ天ニ
イタルトハ其高大ナルコト地ヨリ天ニ至ルニテ皆コレナルコト云
此段スヘテ此道ノ至大ヲキハメテサラニ其外ナキコトヲイヘリ

大哉禮儀三百威儀三千

儀者トハユタカニニチ足リテ
ナラ餘アル意ナリ禮儀トハ

禮ノ儀制コレ經禮ノ大綱タル者ヲ云其數三百條アリ威ハ礼容ノラソル
ヘキ所儀ハ礼容ノカタトルベキ所コレ曲禮ノ細目タル者ヲ云其數三千條
アリコレ禮ノ二端ヲ以テスヘテ此道ノ至小ニ入りテ必
キ其スキナキコトヲイヘリコレ亦道ノ大ナル所ナリ

後行

其火トハ聖人ヲサス聖人ハ物ノ發生養育ヲソカサトリ經礼曲禮
ヲ行ハルコトヲ待テ後此道ハジメ

トヲ得タリ故曰苟不至德至道不凝焉
此故曰公
子思ノワ

待其人而

レカルカユヘニ云クナリ古語ニアラス至徳トハ至極ノ徳アル人即聖人ノ
ナリ至道トハ至極ノ道即ハジメニ段ニトク所是ナリコレ上ノ段ヲウラガレ

イヒテ其理ヲ決定ス蓋し道ハ即徳性ニ率フ所ナリコノ故ニ必至徳ノ人ヲ
後ニ此道ニサニ凝ルコトアリ衆人トハツツマリテアラケズ成リテヤフセサル義

ナリソレ道ハ徳ニアラザレバ凝ラザルニ
ヨリテ下ノ段ニ乃徳ヲ修ルノコトヲトク

故君子尊徳性而

道問學

此段ハ下四句ノ綱領ニモ尊徳性ハ又其本ナリ徳性トハ上
ラ子テ徳性ト云ナリコレヲ尊フトハツレニテサ、ゲモ手其スタレケガ

レニコトヲ恐ルノ意ナリコレ敬ヲタモチテ心ヲ存シ道体ノオイナルコトヲ
極ムルノ工夫ナリ問學トハ九ツ學フニハ問フヲ以テ先トスルハナリコレニ

道ルトハトトリレタカヒテ失ハサル義ナリコレ學ヲツトメテ知ラ致シ道体ノ
如ナルコトヲ盡ス工夫ナリ此ニツノ者

即徳ヲ修メテ道ヲ凝スノ太端ナリ致廣大而盡精微
致廣
大ハ

存心ノ類ノレ人心ノ体モト廣大ナリ一ツモ私意ニオホハルコトアレバ即セ
テ小キナル故ニ必私意ヲソツキテ廣大ノ量ヲキハメ致スベシ盡精微ハ

致知ノ類。蓋シ義理ノ真妄。ワキカタキコトアルニヨリテ。コレヲワクコト。必
精詳微細ナルヲ盡シテ。毫釐ノタガヒナカラレムベシ。此ニシテ者モ亦大
ト細ト。相タスケ相テスノ義アリ。極高明而道中庸。極高明
下ニ句ニナコレニ倣ヒテ見ルベシ。極高明而道中庸。極高明
ノ類ソレ人心ノ体モト高明ナリ。ツモ私欲ニワツラハサル。アレバ則ク

カサテケカル。ニヨリテ。必私欲ニ克テ。高明ノ量ヲ極メツクフヘシ。道中庸トハ衆
知ノ類。蓋シ事ノ處置。ヒトカタニオチヤスキ度アルニヨリテ。コ
レヲ處スル。必中庸ヲエラビテ。毫釐ノ過不及ナカラレムベシ。温故而
知新。温故トハ存心ノ類。温ハモト燻温ノ義ナリス。テニ煮トハハタル

知新。食ノニタビ。冷タルヲバカサテアタムルヲ云コ。ニテハ故ニナ
ビテステニサリタルヲヨリ。又コレヲ習ハレテ。心ト理トヒタリアハス

ルコトヲ云。知新トハ致知ノ類。問學ニラコタラス。日々ニイニタ知ラサル
新キコトヲ會。敦厚トハ存心ノ類。ステニ能レテ厚ク
得スルコトナリ。敦厚以崇禮。ナリタルヲ。ニス。コレヲ敦クシテ。

大イニ成就スル所アルヲ云。崇禮トハ致知ノ類。礼文ノ繁多ナルヲバ。漸々
ニ講習ス。ソノイニタツ。レニサリ。レヲハイヨクコレヲツ。レム。即コレ礼ヲ

アカメテ。崇クスルノコトナリ。蓋シ心ヲ存スルニアラサレバ。ヨク其知ヲ致
コトナシ。而メ心ヲ存スル者。又知ヲ致サズメカナハザルコトナリ。ヨリ
テ此五句。三ナ太小相タスケ。首尾相應スルノ義アリ。聖賢ノ人。メ
徳ニ入ルノミチヲ示スコト。コレヨリ詳ナルハナシ。學者ヨロレク心ヲ盡スヘ
キ所。是故居上不驕。爲下不倍。此ヨリ下。上。文ノ如ク
ナリ。予ソナヘタル者。ユクトノ宜シカラズト云コトナキ度ヲ云コレ。上ニ居ルト下
ト爲ルトヲ以テ。ルソ居ル所ノ位ヲツクセリ。倍カストハ上ニ從ヒテ。ソムカサ
ルナリ。國有道其言足以興。國無道其默足以
容。國道アリテ治ニレシ世ニハ其イヒタツル所ノ言。興リ出テ。爲ルコトアルニ
足レリ。國道ナクテ亂レタル世ニハ。モノイハス。黙メ。身ヲ容ル所アルニ足レ
リ。コレ道アルト道ナキトヲ以テ。ルソ過フ所ノ時ヲツクスモノ言ハス。三イ
テ。イサニナスノ類。三ナ是ナリ。默スハヒキレリツキ。カクヒソノルノ類。三ナ
是ナリ。ニツノ不ノ字。其ニツカラ主張スル所アリテ。ナガレオホシ。ニゲレタカ
スニアラザルコトヲ見ル。ニツノ足ノ字。其場ニツミタクハハタル道徳アルコトヲ

見詩曰既明且哲以保其身其此之謂與

大雅丞民ノ篇ノ詞明ヲリト公理ニ明ナルヲ云。哲トハ車ニツビラカ
ナルヲ云保ズトハ上下治乱共ニ安キヲ云。此トハ上下治乱ニテ直キヲ云

右第二十七章

此章ハ人道
ライヘリ

子曰愚而好自用

此章ハ上章ヲウケテ其下トナリテソ
ムカナルノ意ヲノベトク愚トハ聖人ニアラ
サル者ヲ通ジテ云。自用フトハワガ私智ヲバタラカスコトナリ。此

台夫子ノ意ハ下ニ句トロトレケレ。子思コ、ニ引テハ其意カコレ。賤而

好自專

賤トハ天子ニアラサル者ヲ通メ云。自專ニストハ
上ノ法令ニハツレテワガニ制作スルコトアルヲ云。生

乎今之世及古之道

道トハ制度ノ類ヲサス。賤者自專ニ
セストイヘ。又今ノ世ニ生レナカラ

時ノ禮法ヲ守ラヌメ古ノ制度ニ
反リテスルコトヲ好ム者アリ。如此者裁及其身者

也。コレ朋哲ニノ保スル
者ニアラサルヲ云。

非天子不議禮不制度不

考文

コレヨリ下公子思ノ言ナリ。礼トハ親疎貴賤ノ間相レハル事体ノ
法式ヲ云。コレヲ議ストハハカルナリ。其ヨキホドヲハカリナスゾ。度

公禮中ノ制度品節ヲ云。コレヲ制ストハ公ツクリ定ムルゾ。文ハ文字也。コレヲ考フ
トハ校ヘ正シテ諸國ヲ一様ニスルゾ。此假上ヲウ。テ云。九ツコレハ天子タ
ル人ノ事ニシ。下ニ居ル賤

今天下車同軌書同文行

回倫

今ト公子思當時ヲ以テ云。軌トハ車輪ノ迹ノヒロサヲ云。周ノ制
車ノ廣サ亦尺六寸ニテソノ轍迹ニテ同レ。コレ天下度同クスル

ナル書同文トハ物ニカキシルス文字ニ様ナルヲ云。コレ天下文ヲ同クス
ルナリ。行トハ人ノ行フ所。倫トハツイデナリ。即親疎貴賤ノ相レハル事

休ニツノ次第アルヲ云。此假上ヲウケテ云。故ニ今
ノ世。此三ツノ者天下ニ統ニシテ時王ノ制ニツムカスト。雖有其位

苟無其德不敢作禮樂焉

其位トハ礼樂作ルノ位コレ
天子ヲサス其德トハ礼樂

作ルノ徳。コレ聖人ヲサス。礼樂ヲ云時公上ノ度文モホソノ中ニアリ。此段上ノ愚ニノ自用ルノ句ニ應ズ。蓋シ天子トイヘ。凡聖徳アルニアラザレバ。敢テ礼樂ヲ制セズ。ソノ敢テセガルコト。雖有其徳苟無其位亦

不敢作禮樂焉。此段賤レウメ自專ニスルノ句ニ應ズ。句義上ニ同じ。ニツノ亦ノ字ヲ見テ。意人重キコト。此段

ニアルコトヲ知ルベレ。凡ソ礼樂作ルコトハ。子曰吾說夏禮杞

不足徵也。杞國ノ名。夏禹ノ後孫コレニ封セラル。夫子三代ノ礼

有宋存焉。宋ハ殷湯ノ後孫封セラル。ノ國ナリ。云意ハウレ又カツ

吾學周禮今用之吾從周。周ノ礼公

ノ法ニアラスト。

モノ。今世ノ用ル所ナレバ。吾ハ周礼ニ從ハント。蓋シ夫子其徳アリトイヘトモ。其位ナキニヨリテ。礼樂作り玉ハガルノミナラス。古礼ヲヒロク學ビ知ルトイヘ。凡。當レノ礼ニ從ヘリ。子思此語ヲ引テ。今ノ世ニ居ル者。敢テモノ道ニ反ラザルノ意ヲ明セリ。

右第二十八章 此章モ亦人

玉天下有二重焉其寡過矣乎。此章ハ上章ノウタ

分ヲコエ私ライル。所ナレヨリテ過ラ

無徵不信不信民弗從。此コリ下ハニ典オモキコトナル

上焉者雖善無徵

此コリ下ハニ典オモキコトナル

ニトリテ。作リタテラレタルニアラガレハ行ハレガルト云。上焉者トハ時
王ヨリ以前。夏商等ノ礼典ヲサス。ソノ制作ヨレトイヘ。今徴トスルニ足
ルホドノナシ。徴ナケレバ。民ノ信ヲトルニタラ
ズ。信アラガレバ。民アナドトリテ。コレニレタガハズ。
下焉者雖善

不尊不信不信民弗從
下焉者トハ下位ニ居ル
者ヲサス。夫子ノ垂ノ如

キハ制作スルニヨレトイヘ。尊位ニ居玉ハサルニコリテ。民亦信從セサル也。
サレ。此ハ詞ヲウケテイヘリ。夫子モレ民信從セバ制作レ玉ハント云ニア
ラス。又上焉者ト云ヲ。制作ノ上世ヨリ出ル者トシテ。下焉者ト云ヲ。制作ノ下位
ヨリ出ル者トシテ。二ツノ善ノ字ヲ。制作ノ善ツクセル義ニトルモ亦通ズ。

故君子之道
此ヨリ下ハ上ヲウケテ。三典必聖人天子ノ位ニアリ
テ後。二サニ制作ノ善ツクスコヲ得ト云フヲ明カス。

此君子ハ天下ニ玉タル人ヲサス。道公即
本諸身
其身ノ徳ニ本ツクコ

礼ヲ議レ度ヲ制シ文ヲ考ルノ意ナリ
考諸二王
ト云云此向最オモレ

而不繆
二王トハ夏ノ禹商ノ湯。周ノ文武ヲ云。不繆トハタカハサル也

順フコトハアハサレ
建諸天地而不悖
今ノ制ヲコハニク

厝亦繆ラストスル也
質諸鬼神而無疑
鬼神ハ天地ノ

ヲ相ムカヘテ見ルニ彼道理
トソムキモトル所ナシ。
コレ天地ノ中ヨリ。又キ出レテイヘリ。鬼神ノ徳。幽ニシテアラハサズ

トイヘトモ制作ノ變通損益ノ宜キ所。其理ト相ムカヒレテ疑フ所ナシ。
百

百世ノ後聖人ヲタビ出ル時ラ。質諸鬼神而無疑。知天

也。百世以俟聖人而不惑。知人也。
此段。上文ノ中

カタキコト。兩端ヲアゲテコレヲ贊美ス夫ヲ知リ。人ヲ知ルトハ古ク其理ヲ
知ルヲ云。疑ヒ惑フノウラナリ。ヨク人ヲ知ル時。公即亦天ヲ知ル。其實ハ兩端

アルニ
アラズ。是故君子動而世爲天下道行而世

爲天下法言而世爲天下則。是故ト公上ノ天ヲ知リ人ヲ知ルヲウケテ云三

句一頭西脚ナリ。下ノ言行公上ノ動ノ字ヲワケテ云法則ハ上ノ道字ヲワケテ云行ハ迹アル故ニ以テ法式トスベシ。言ハ據アル故ニ以テ準則トスベシ。而

レテ其行フ所言フ所上ニウケ來レ公ニ重ニハツレズトイヘ凡語ノ意ハヒロクカチタリ。遠之則有望近

之則不厭。遠レト公夷狄ヲサス近レト公華夏ヲサス遠キ公其澤ノヒロク及ブラ悦ブニヨリテクハタテ望ニテコレ

ヲレタフ近キハ其徳ノ常アルニ習ル詩曰在彼無惡在

此無射。ノ詞此二句君子當時後世ノ法則トナリテ華夏夷狄ニ安

レレタハル庶幾夙夜以永終譽。庶幾ハチカハラント云ノ意ニ應ス

文ヲウケテ云カクノ如クナル時公アケクレ人ニヨミシゼラレテ今ノホニレラスエナガクトゲラフルニチカハルベレトナリ。君子

未有不如此而蚤有譽於天下者也。コレ子思ノ言ナリ

不如此ノ此ノ字公上文ノ本諸身ト云ヨリ以下六ツノ者ヲサレテ云蚤クト公先ト云義ナリ。カクノ如クナル貴ナクノミツ天下ニホニレアルトハイニダ

カツテアラズトナリ。

右第二十九章。此章モ亦人道ヲイヘリ。蓋レ章内ニ聖人ノ地位ヲ云フアルハ君子ノ法トスル所ニ

レテ大意ハ制作ヲツクシシテ人事ヲツクス上ニアルヲ以テ亦人道トスルナリ。又上章ハ下位ニアル者ヨリ云ラ以テ其重キ一地位ニアリ。此章ハ

上位ニアル者ヨリ云ラ以テ其重キ一徳ニアリ。

仲尼祖述堯舜憲章文武。憲ハ法。章公アラハスナリ。孔子ノ聖遠クハ堯舜ヲ祖師

トメソノ道徳ヲツタへ述べて近クハ文武
ヲ成法トメソノ典則ヲアラハレヒロム。

上律天時下襲木

土。天時公四時ナリ。水土公地ナリ。此四字公天地ノ一ヲ借りテ。聖人ノ道ニ
用フ。律ルト公法律ノ如クニ。分毫モソムカザルナリ。襲ルト公モト衣

ヲカサヌルノ稱コトニハヨリソヒテ。相タカハサルノ義ニトル。蓋シ聖人時ニ
久カヒ變易ノ各ソノ可ニアタルヲコレ天時自然ノ運ニソツトル所ナリ。ソノ

遇フ所ニレタガヒテコレニ安シセスト云フナキ公コレ水土一定ノ理ニヨル所
ナリ。此二段スベテ夫子ノ釋聖ノ大成ヲ集メ天地ト其徳ヲ合セテ。衆聖萬

善カ子ソナハラスト云フナキヲ見ル。辟如天地之無不持
皆身ノ内外事ノ大小ヲカ子テイヘリ。辟如天地之無不持

載無不覆。此ヨリ下公又天地ノ道ヲ以テ。聖人ノ徳ニタトフ。持
ナリコレ天ヲトク其タトヘラトク

意ハ下文ニ見エタリ。下ノ段モ亦同ジ。辟如四時之錯行如
ナリコレ天ヲトク其タトヘラトク

日月之代明。日ハ晝月ハ夜相カハリテラスヲ代明ト云。萬

物並育而不相害道並行而不相悖

ヘラトル意ヲトク天地ハ萬物ヲ覆ヒ載セテ各ソノ所ヲ得セシムル故ニ種
々三ナ其間ニ並ビヤレナハレテ。ツモ相ソコナフナレ。四時日月運行變化ノ

妙道モカレコレ並ビ行ハレ各ソノツイ。小徳川流大徳敦化
テニレタガヒテ少レモ相モトルナレ。

小徳太徳モ。天地ニツキテ云。小徳ト公全体ヨリ萬殊ニワカレタル者ナリ。
太徳ト公萬殊ヲ一木ニスヘタル者ナリ。川流ト公川ノ流汎ノスチ三チ分明ニ

シテ其ユクイヤレサルラ云。化ト公即川流スル所ノ者ヲ造化スルヲサスコレ
ニ敦シト公其本盛大ニ出ルキハミナキヲ云カノ並ヒ育ハレ並ヒ行ハル

者ノ相ソコナハス。相モトラザル公コレ小徳ノ川ノ如クニ流ル。所ナリ小徳ノ
難ハリテニダレス。逝テヤレガレノ間ニツノ渾淪タル者アリテ。ソノ主張ト

ナリカノ並ビ育ハレ並ヒ行ハル。一ト出テ。此天地之所以爲
キハ一ナキ公コレ太徳ノ化ニ敦キ所也。

大也。コレ天地ノ道細大カ子ソナヘスト云所ナレ。ソノ大イナリトスル
所ノ實カクノ如シト。天地ノ道ノ大イナリ所公即聖人ノ道ノ大

十九所

右第二十章

此章八天道
ライヘリ。

唯天下至聖為能聰明睿知足以有臨也

至聖トハ至徳ノ至極。コニテハ聖人天子ノ位ニアル人ヲ以テ云為能ト云
字下ノ四句ヲツラヌク。皆至聖ノ能スル所ナリ。聰トハキクノガトキヲ云
明トハ見ルノキヲ云。睿トハ通セスト云。知トハキクヲ云。睿ハ
知ルノ至ラズト云。ナキヲ云。即コレ生知安行ノ資質ナリ。臨ムコトアルニ
足ルトハ上ニ居テ下ニノゾミ民
ヲ治ルニタレハノ徳アルヲ云。
寬裕溫柔足以有容也

此ヨリ下。上文臨ムコトアルニタレハ内ニ就テ仁義禮智ノ四徳ヲワキテトク
實ハ五タカナリ。裕ハユルヤカナリ。温ハオタヤカナリ。柔ハヤハラカナリ。容ル
ハヒロク人ヲウケイル。
發強剛毅足以有執也

強ハツヨシ。立テレオレサルヲ云。剛ハ直クノタハナルヲ云。毅ハカタクノ
事ニタヘレノフナリ。執ルトハトリサダマリテ。率由スル所アルヲ云。コレ表ナリ。
齊莊中正足以有敬也

齊トハ心純一ナリ。莊トハ容端嚴
ナリ。中ハカタオチナラス。正ハヨ
コレニオラス共ニ内外ヲカ子テ云。敬ムトハ夫
理ヲツ、レミ民事ヲツトムルナリ。コレ礼ナリ。
文理密察足以

有別也。文ハヤヤアリテ。クラカラス。理ハオチクアリテ。ミタレス。密ハ
ツミビラカニツフナリ。察ハアキラカニワカツナリ。別トハヨ
レレラヨク見ワクルゾ。コレ智ナリ。睿智ノ智
ハ資質ヲ以テ云。此智ハ事ヲハカラフノ智ナリ。
溥博淵泉而時

出之。溥ハアノ子ク博ハヒロキソ。淵ハフチ。泉ハイツ。ヨク借用ノ字ナリ。淵ハ
出トハ發見ノ義ナリ。此段ハ至聖ノ人。上文五ツノ徳。靜深ニレテ本アルヲ
以テ。其内ニミナツモリ。發見スヘキ時ニシタガヒテ。外ニ發見スルコトヲ云。

溥博如天淵泉如淵。コレ天ト淵トヲ以テカノ溥博淵泉
ノミチツモル。モトカクノ如クニギハ

中庸の解

見而民莫不敬見ストハ威儀動作言而民

莫不信言トハ号令ニホ行而民莫不說行フトハ政事ニ

是以聲名洋溢乎中國施及蠻貊義ナリ中國ハ中華施クトハヒロコル

舟車所至人力所通天之所覆

地之所載日月所照霜露所墜凡有血氣

者莫不尊親首六句ハ只コレ東秋ノスエニテノコラハラシキハメ

故曰配天配天トハ其徳ノ及フ所ノ廣大夫ノ如クナルコト

云句ニ應ズトノ高明配天ト

右第二十章

コレ上章ラウケテ小徳ノ川流ラトク

此ヨリ下ノ兩章聖人ノ徳ヲ以テ天ノ小徳大徳ヲノベトク天ラ云フ

公即聖人ヲ云所ナリ又此章聰明睿智ヨリノ仁義礼智ノ目ヲワケ出

唯天下至誠為能經綸天下之大經此為能

下ニ苟ラツラヌク天下之太經トハ五品ノ人倫ヲ云經ハ常ナリコレヲ天下

ノ大常法トスル時ハ天下ノ事ニナコレヲ法トシ又萬世ニテモ常ニ易ヘ

ラレザル所ノ者ナリコレヲ經綸ストハ絲ヲ治ルコトヲ借リテ云經トハ多テ

ヲヘルコトナリ綸トハ又キヲ以テラリ合スコトナリ條理ヲワカチテミダレズ

源頭ノヲ以テスベトクニヨリテ。太徳ノ教化トスルナリ。上章ニハ至
聖ノ徳ヲ云。此章ニハ至誠ノ道ヲ云。至誠ノ道至聖ニアラガレゴシラ知
ルコトアタハズ。至聖ノ徳。至誠ニアラサレバ。コレヲ為ルコトアタハズ。實ハ亦
二物ニアラサルナリ。此章聖人天道ノ極致ヲ云フ。コトニ至リテ以テマ
加ルコトナレ。

詩曰衣錦尚絀惡其文之著也

此詩ノ詞衛風碩
篇兩處ニ出テ、三ナ衣錦娶衣ト作レリ。娶ハ絀ト同レヒトヘギヌナリ。予
思此ヨリ上ニ至誠ノ功用ノ妙ヲトキ極ムルニヨリテ。コレヲ學フ人必ラ高遠
ニハセニラ恐ル。ゴノ故ニ。又下學ノ人心ヲ立ルノ始ヨリ。イヒ出シテ終リニ又ソ
ノ極處ニトキ至レリ。コトニツ詩ヲヒキコレヲ釋ノ云ク。詩ニ錦ヲキテ絀ヲウ
ハラソヒニ加フルト云フソノ文彩ノ甚アラハナルコトヲ。ニクニテト古人
ノ學。内ニムカヒテ。實ヲツトムルコトヲイハントレテ。ツツコレヲイヘリ。故

君子之道闇然而日章

君子ノ學者ヲサシテ云道トハ
ノ心ヲ立ル所ヲサス。蓋シトク

學ヲスルコト。其心ヲ專一ニメ。タゞ己カタメニス。コノ故ニ。外ヨリ見ル時。闇然ト
レテ。闇キガ如シ。コレ絀ヲ加ルナリ。サレドモ。内ニムカヒテ。自修ルノ功ヤミス
メ。徳ヲツム。トキ至レリ。アツキニヨリテ。ソノ光色。日々ニアキラカニシテ。オホハ
レズ。ゴレ外ニハ絀ヲ加フルトイヘドモ。内ニハ錦ヲキテ。華美ノ實アレバナリ。

小人之道的然而日亡

的トハ明ナル義ナリ。小人ハ君子ノ
立心ト。ウラチガヒナル故ニ。外ヲ明

君子之道淡而不

ニカサリテ。人ヲカヤカス。外ニ分ヲミセ。必
内ニ分ヲ裁ズ。ヨリテ其徳。日々ニホロブルナリ。

不厭

此ヨリ下ニ三句ハ上ノ闇然トノ自修ルノ君子。ソノ徳。日々ニ章ナルコ
トヲ嘆美ス。此君子ノ氣象。サレヨリ。淡薄ニメ。コトニレキ。コトナキヤウ

簡而文

威儀容貌ヲカサリツク。ロハス
レテ。簡略ナルヤウナリトイヘ

温而理

外ニミレハル所。温厚ニメ。エリワク
コトナキヤウナリトイヘドモ。其内

知遠之近

此ヨリ下
三句ハ人

實ニ己カ為ニスルノ心アレバ必善惡ノキガシラツ、レムコトヲ知テ德ニ入ル
コトノ得ヤスキコトヲ云。遠シト公カレコニ、レハル所ノ者ヲサヘ。近シト公、
ニアル已カ身云カレガ已ニ從フト。從ハサルハ。知風之自ヨルヲ。風トハ。已ヨ
ワガ身ヨリスル道理ノ得失ニヨルコトヲ知ルゾ。知風之自リ出テ。物

ニ及フ所ヲ云。風ノ物ニ加ハルガ如クナレバナリ。其ヨリテ、出ル
所ノ者。即ワカ心ナリ。コレ上ニ身ヲ以テ云ヨリ。其意キビシ。知微之テ

顯。コレ微レキナルヨリモ顯ナルハナレト云義ト同じ。内ニアルコト。必外ニアラ
ハルレバコレ微即顯ナリ。上句ニカレト已ト云ヨリモ。其意イヨクキビシ。

可與人德矣。ステニ己カ為ニスルノ心アリテ。又ヨク此三ツノ者ヲ知
ル持公則ソノツ、レミドコロラ知ルニヨリテ。此以ト公

共ニ與ニ德ヲ成ス道ニ入ラルヘキゾ。ゴノ故ニ。下ノ段ニ獨ラツ、
レムコトヲ。詳ニトク。此ヨリ下。ハタヒ詩ヲ引ク。其意次第ニ緊切也。詩云潜

雖伏矣亦孔之昭。此ヨリ下ニ段上。文德ニ入ルト云ヲウケテ。
獨ラツ、レムノ工夫ヲトク。コレ德ニ入ルコト

ノ最緊要ナル處ナレバナリ。詩ハ小雅正月ノ篇ノ詞。云意ハ魚沼ニアリテ。レツ
ミヒソニリタルハ。カクレタルヤウナリトイヘ。水スキトナリテ。人ノ見ルコト

ハ多胎ナリト。コレヲ以テ。隠レタルヨリモ著レタルハ
ナレ。微キナルヨリモ顯ナルハナレト云ノ意ヲ明ス。故君子内省

不疚無惡於志。君子ハツ子ニ内ニムカヒ省察ノ。ワツカニ私意ア
レバ則克チノゾキ。ニツカラヤ、レカラズ。心志

ニハチニクムヘキコトナカラレム。コレ即獨ラ慎ム
者ノ自欺クコトヲ禁止。自備クスルノ工夫也。君子之所不可

及者唯人之所不見乎。衆人ニカハリテ。君子ノ及バレザ
ル所ノ者ハツレタ。人ノ見サル所

詩云相在爾室尚不
見乎。内ニ省ルノ工夫ヲ用ル上ニア
ルコト。上段ノ意ヲ味嗅スル詞ナリ。詩云相在爾室尚不

見乎。詩ハ太雅抑ノ篇ノ詞。コレ衛ノ武公ニツカラ詩ヲ作り。
警者ヲノ常ニ誦メ。已ライミレメサセラレシコトナリ。爾ト

公替者ヨリ武公ヲサス詞。室ハオクノニナリ。屋漏ト公室ノ西北ノ隅ヲ云。ソノ
屋ノ邊ニ日光ノ漏レ入ル。ミトアレバナリ。云意ハ今ニレバ爾ノ室ニツレリ。ソノ

屋漏ノ人ナク。オラフカキ處ニ居レバトテ。レバタクモ戒慎恐懼ニツコタル
ノ懼ナカラシコトヲ。ゴヒ子カヘト。蓋シ念頭事幾ヲ省察メソノ私ニ克ツノ三ニ

アラズ。常々戒懐ノ存養ノ工夫。間斷ナカルベシトナリ。一説ニ屋漏ニ愧ヂサレトハ其時目前ニアル所ヲトリテ云立ツ時ハ影ニハツルナカレ。寐ニハ被ニハツルナカレト云意ノ如シト。故君子不動而敬不言而信。詩意ヲ云コノ故ニ君子ハ動作ノ時恭敬シ。言語ノ上ニ忠信アルノミニアラズ。動カザル時ニモ亦敬シ。モノイハザル時ニモ亦信アリ。コレ即首章ノ睹サルニモ戒慎シ。聞カザルニモ恐懼スト云意ト同ジ。コレ存養ノ工夫ナリ。ゴ、ニ至リテ君子已ガ為ニスルノ功。ニスク精密ナルニヨリテ。下文ニ其效ヲアハセテコレヲトク。○首章ニ存養ヲ先ニス。省察ヲ後ニスルハ天命ノ本原ヨリトキ出スニヨリテ。内ヨリ外ニ及ブ。ゴ、ニ省察ヲ先ニテ。存養ヲ後ニスルハ。下學ノ立心ヨリトキオコスニヨリテ。詩曰奏假無言時靡有爭。詩ハ商頌

味ヨリノ密ニ入ルナリ。詩曰奏假無言時靡有爭。詩ハ商頌烈祖ノ篇ノ詞假格ト同ジ。至ルナリ。神ノ來格ヲ云コレ云意ハ君子祭祀ニソニス。三ニイリテ。神明ヲ感格スルノ時。誠敬ヲキハメテ。言説アルナレサレ。尼桑ヲ助クル人。三ナコレニ化。是故君子不賞而民相爭ヒゾムキモトルノ失礼ナレト。是故君子不賞而民

勸不怒而民威於鈇鉞。鈇ハナタ。鉞ハシノ。三ナ死刑ヲ行フノ具ナリコレ詩意ヲウケテ

云君子自修ハノ效。上ニ云如クナルニヨリテ勸賞ヲ行ハサレト。民上ノ事ニツトム。怒ラサレ。凡其命ニ服シテ。鈇鉞ヲ見ルヨリモコレヲワルト。詩

曰不顯惟德百辟其刑之。詩ハ周頌烈文ノ篇ノ詞コレ文武ヲホムルノ詩ナリ。不顯

公モト前章ノ於乎不顯ト。同ジ義ナリトイヘ。凡コノニハ借リ引キル。オクフカクメ。ハルカニトラキ意トス。百辟トハ辟ハキニナリ。諸侯ヲサレテ云。天子不顯ノ德アレバ。諸侯法ニトリテ。コレニ倣フトナリ。是故君子篤恭而天下平。カナリ

亦詩意ヲウケテ。コレヲノブ。篤恭ハアツクツ、レムナリ。心オサマリ。内ニムカヒテ。恭敬外ニアラハレス。即コレ不顯ノ德ナリ。諸侯ニナ其德ニ化スルヲ以テ。方民ニ及ビ。天下平ナルニ至ルナリ。蓋レ上文ノ民勸メ。民威ル。モ敬ステニ深クメ。效亦遠レ。コレハ其敬イヨク深クメ。其效イヨク遠レ。コレ聖人ノ至徳。靜深微妙ナルニ自然ノ應驗アル所。即中庸ノ功ヲ致セル至極處ナリ。以上五ツノ詩ヲ引キツラ子タル意ハ。始學ヨリ成德ニ至ルニテ。疎密淺深ノ

中庸句解下

三十九

不茅 詩云予懷明德不大聲以色 詩の大雅皇矣ノ篇

徳ヲサレテ云聲ハ号令色ハ威儀ナリ。詩人天帝ノ文王ニツテ王ヲ詞ヲツ

クリテ云クワレナニチノ内ニ明德ヲ深クシ。外ニ号令威儀ヲ大イニセサルヲ

ガ心ニカケテアワズスレズトコレヲ引 夫のせいれい 子曰聲色之於以化民

テ上文ノ顯レサル徳ノ意ヲ明ス。 ヲケルハ 未也 スルニ

子思又未子平日ノ語ヲ引テ云ク号令威儀ヲツケレムハ民ヲ教

徳ニアリト。然レバ今々、聲色ヲ大イニセズト云ノミナルハナラ

聲色ト云者アリコレイマダ不顯ノ妙處ヲ擬スルニ足ラサルゾト。 詩云徳

輔如毛 詩ハ大雅烝民ノ篇ノ詞コレ徳ノ輕細又微ナルヲケハナラ

毛猶有 フ。毛ニ反トフコレハ不顯ノ妙ヲ擬スルニチカシ。

倫 子思又云ク詩ニ毛ノ如レトイハチナラヒノタクラフ。上夫之載

無聲無臭至矣 コレハ詩ノ大雅文王ノ篇ノ詞載レハ道ト云義

ナリ。詩ノ云意天道ハ聲モ臭モナクン。法

カタシク、文王ヲ法トスレバ即コレ天道ナル故ニ人ミナコレヲ信ズトゴ、ニハ
只聲モナク臭モナキノ詞ヲトリテ云ク聲臭ノニツハ氣アリノ形ナレゾノ物
タル最微妙ナリ而ルヲコレ并ヘテト云時ハ只コレノミ不顯ノ徳ノ至リナリト
サレ、任上ニツノ詩ハ只コレ不顯ノ徳ヲタリカヘレ替噴スルバカリナリ。此ニ等ヲ
歴テ後ハレメテ其妙處
ニ至ルト云ニアラス

右第三十三章 子思因前章極致之言 キヨクチノ

反求其本 カヘテモトメ 極致ノ言トハ聖人天道ノ極處ニ極メ致スノ言ヲ

復自下學爲己謹獨之事 初學ノ一ヲタツ 復自下學爲己謹獨之事推

而言之以馴致乎篤恭而天下平之盛 子モトメテナリ。 復ハラタ、ビト云義ナリ。馴致トハ馴ハナル、ナリナレハジムルヨリ漸クニ

ナレソニテ極處ニキハメ致スヲ云下學スル者ノ己ガ爲ニレ獨ラツケム

口耳之徒

四十一

公即本トノハジムル處ナリ。コレヨリ推レ去リ。イヒタテ。漸々ニ馴致シ。篤恭
シテ天下平ナルノ盛ナル地位ニ至ル。コレハ上達ノナリ。下学上達トハ下
小事ヲ学ブニヨリテ。ラノツカ
ラ上テ天徳ニ達スルヲ云ナリ。又賛其妙至於無聲無

臭而後已焉。又上達ノ微妙ヲ賛美ノ聲モナク臭
モナレト云ニキハメ至リテ後ニヤム。蓋舉

一篇之要而約言之。要ハ簡要。約ハツバムルナリ。首章ヲ
外ニトキ出シ。戒慎慎獨ノ中和ヲ致シ。天地位シ。万物育ハルノ太切ニ至ル

此章ヲ一篇ノ要ヲ擧グト云ハ。已ガ為ニ。内ニムカフ。初学ノ淺キ工夫ヨ
リ。漸々ニ深ク入りテ。聲モナク臭モナキノ妙處ニ至ル。首章、一篇ノ指ヲカ

子ク、リテ。ノコス所ナシ。此章ハ一篇ノ指ヲトリオサメテ。亦ノコス所ナシ。
始末兩章ノ意。實ニ

相表裏スル者ナリ。其反覆丁寧示人之意至深

切矣。反覆丁寧ノ義。前ニ見エタリ。深切ハカク々
レカナリ。始末兩章ノ示ス所カクノ如クナリ。學者其

可不盡心乎。

中庸
四書示蒙句解卷二十八中庸下終

